

令和4年度  
事業報告書

社会福祉法人  
北区社会福祉協議会



# 目 次

## 令和4年度 事業報告

I. 社会福祉事業区分 地域福祉推進事業拠点区分	1
1. 法人運営事業サービス区分関連事業	1
(1) 組織運営事業	1
(2) 調査・研究・企画・広報事業	8
(3) 連絡調整事業	11
(4) 岸町ふれあい館運営	16
(5) 基金運営事業	17
2. 地域福祉事業サービス区分関連事業	20
(1) 地域福祉ネットワーク事業	20
(2) 福祉教育・啓発事業	29
(3) 援護事業	31
3. 在宅福祉事業サービス区分関連事業	32
(1) 友愛ホームサービス事業	32
(2) その他の在宅福祉サービス事業	36
4. 地域福祉・ボランティア活動推進事業サービス区分関連事業	39
(1) 地域福祉・ボランティア活動推進事業	39
5. 助成事業サービス区分関連事業	44
(1) 地域ささえあい団体助成事業	44
(2) 子ども・若者応援基金助成事業	48
6. 地域福祉権利擁護事業サービス区分関連事業	49
(1) 地域福祉権利擁護事業	49
7. 権利擁護センター事業サービス区分関連事業	51
(1) 権利擁護センター「あんしん北」事業	51
(2) 成年後見活用あんしん生活創造事業	56
(3) 成年後見活用あんしん生活創造事業(委託)	60
8. 視覚障がい者ガイドヘルパー派遣事業サービス区分関連事業	63
(1) 視覚障がい者ガイドヘルパー派遣事業	63
9. 生活困窮者自立支援事業サービス区分関連事業	64
(1) 生活困窮者自立支援センター事業	64
10. 生活福祉資金貸付事務受託事業サービス区分関連事業	69
(1) 生活福祉資金貸付事務受託事業	69
11. 受験生チャレンジ支援貸付事務受託事業サービス区分関連事業	71
(1) 受験生チャレンジ支援貸付事務受託事業	71
12. 緊急援護たすけあい資金貸付事業サービス区分関連事業	72
(1) 緊急援護たすけあい貸付事業	72

13. 子ども支援事業	73
(1) 学習支援事業	73
(2) ネットワーク支援事業	75
(3) その他の子ども支援事業	77
II. 社会福祉事業区分 歳末たすけあい運動事業拠点区分	79
(1) 歳末たすけあい運動事業	79
III. 公益事業区分 介護保険事業拠点区分	80
1. 桐ヶ丘介護予防拠点施設事業	80
(1) 桐ヶ丘介護予防拠点施設事業	80
2. 滝野川東介護予防拠点施設事業	80
(2) 滝野川東介護予防拠点施設事業	80
3. 要介護認定調査事業	84
(1) 要介護認定調査事業	84
IV. 収益事業区分 自動販売機設置事業拠点区分	85
1. 自動販売機設置拠点事業	85
(1) 自動販売機設置拠点事業	85
V. その他	86
1. 地区担当	86
2. 東京都共同募金会北地区協力会・配分推せん委員会事務局の業務	87
(1) 東京都共同募金北地区協力会	87
(2) 配分推せん委員会	88

## 令和4年度 事業報告

### I. 社会福祉事業区分 地域福祉推進事業拠点区分

#### 1. 法人運営事業サービス区分関連事業(事務事業費 33,849 千円、人件費 32,554 千円)

##### (1) 組織運営事業 (41,335 千円)

##### ① 会議・監査

##### ア. 理事会

開催回数	開催日	出席者数 (人)	現員数 (人)	付 議 内 容
第1回	6/7	12	12	A. 常務理事の選定について B. 令和3年度事業報告書・収入支出決算書および監査報告について C. 各規程の改正について D. 役員等賠償責任保険契約について E. 評議員の推薦及び評議員選任・解任委員会の招集について F. 令和4年度定時評議員会の招集について
第2回	10/26	11	12	A. 令和4年度上半期の会長および常務理事の活動報告について B. 各規程の改正等について C. 北区社会福祉協議会70周年実行委員会の設置について
第3回	1/17	9	12	A. 給与規程の改正について B. 評議員の推薦及び評議員選任・解任委員会の招集について
第4回	3/20	9	12	A. 令和5年度事業計画・収支予算(案)について B. 令和4年度下半期の会長および常務理事の活動報告について C. 各規程等の改正について D. 令和4年度第2回評議員会の招集について

イ. 評議員会

開催回数	開催日	出席者数 (人)	現員数 (人)	付 議 内 容
第 1 回	6/22	21	26	A. 令和 3 年度事業報告書・収入支出決算書及び監査報告について
第 2 回	3/27	20	26	A. 令和 5 年度事業計画・収支予算（案）について B. 各規程等の改正について

ウ. 監査

開催日	付 議 内 容
5/27	A. 令和 3 年度事業執行状況について B. 令和 3 年度各会計収支決算について C. 令和 3 年度財産の状況について（令和 4 年 3 月 31 日現在）

② 会員及び会費の状況

会員区分	令和4年度			令和3年度			差異		
	有効 会員数(件)	納入 件数(件)	金額(円)	有効 会員数 (件)	納入 件数(件)	金額(円)	有効 会員数(件)	納入 件数(件)	金額(円)
個人会員	3,606	3,503	4,643,000	3,887	3,700	4,851,500	△281	△197	△208,500
団体会員	332	311	1,014,500	350	303	743,500	△18	8	271,000
賛助会員	713	689	1,620,500	758	704	1,596,500	△45	△15	24,000
合計	4,651	4,503	7,278,000	4,995	4,707	7,191,500	△344	△204	86,500

③ 寄付金等の状況

ア. 寄付金

寄付区分	令和4年度		令和3年度		差異	
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
一般寄付金	174	11,910,621	174	8,102,120	0	3,808,501
指定寄付金	60	4,308,033	69	3,458,462	△9	849,571
子ども若者応援基金	33	1,925,451	41	2,329,909	△8	△404,458
介護予防事業のため	0	0	2	21,900	△2	△21,900
障害福祉事業のため	0	0	0	0	0	0
高齢者福祉のため	0	0	0	0	0	0
児童福祉のため	27	2,382,582	26	1,106,653	1	1,275,929
地域福祉活動推進のため	0	0	0	0	0	0
災害関連のため	0	0	0	0	0	0
生活困窮者自立支援事業	0	0	0	0	0	0
生福資金受託事業	0	0	0	0	0	0
寄付物品	7	115,623	13	360,000	△6	△244,377
合計	241	16,334,277	256	11,920,582	△15	4,413,695

イ. 施設整備等寄付金

寄付区分	令和4年度		令和3年度		差異	
	件数 (件)	金額(円)	件数 (件)	金額(円)	件数 (件)	金額(円)
施設整備等寄付金	0	0	1	499,500	△1	△499,500
合計	0	0	1	499,500	△1	△499,500

④ 地域福祉活動計画等推進委員会

第4次北区地域福祉活動計画策定を受け、令和2年度より地域福祉活動計画等推進委員会を開催し、令和3年度に実施した「第4次北区地域福祉活動計画アンケート」の結果報告や、総括評価に関する検討を行った。

ア. 第4次北区地域福祉活動計画の概要

基本理念	誰もが安心して暮らせるまちづくり		
基本目標Ⅰ	一人ひとりが輝くことのできる地域社会の実現		
基本目標Ⅱ	誰もが互いにささえあい、つながり、参加できる共生社会の実現		
基本目標Ⅲ	従来の枠を越えてさまざまな可能性が生まれる地域社会の実現		
策定日	令和元年9月	発行部数	計3,000部

イ. 社会福祉法人北区社会福祉協議会 北区地域福祉活動計画等推進委員会（推進委員会）

開催回数	日程	内容
第1回	6/27	・第4次北区地域福祉活動計画 アンケート結果報告書について ・第4次北区地域福祉活動計画 進捗評価について
第2回	11/28	・第4次北区地域福祉活動計画 令和3年度進捗評価について ・次期北区地域福祉活動計画について
第3回	3/22	・第4次北区地域福祉活動計画 団体ヒアリング進捗状況について ・第4次北区地域福祉活動計画 総括評価方法について

⑤ 内部研修

開催日	研修名
5/30	災害新任職員研修
2/1	ハラスメント研修（一般職員向け）
2/15	災害職員研修（BCPについての理解）



## ⑥ 外部研修参加（各業務別研修は除く）

(人)

開催日	研修名	実施機関	参加人数
4月	新任事務局長研修	東京都社会福祉協議会	2
5月	新任職員研修 ※オンライン	東京都社会福祉協議会	2
5月～6月	財務マネジメント初級研修 ※動画配信	東京都福祉人材センター	2
6月	はじめて社会福祉を学ぶ福祉職員のためのスタートアップ研修※オンライン	東京都社会福祉協議会	1
6/16・17	管理職研修	東京都社会福祉協議会	2
6/25	ボランティアコーディネーション力検定（3級）	日本ボランティアコーディネーター協会	3
6月～7月	福祉職のためのメンタルヘルス講習会※動画配信	東京都福祉人材センター	4
6月～7月	精神保健福祉研修（前期）※動画配信	東京都立精神保健福祉センター	9
7月	関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会	全国社会福祉協議会	6
7月～8月	ファンドレイジング研修	東京都福祉人材センター	1
8月	団体・協会のための機関誌セミナー	第一資料印刷株式会社	1
9月	社会福祉法人・施設運営研修	東京都社会福祉協議会	1
9月	都内区市町村社協職員基礎研修	東京都社会福祉協議会	2
9/30	区市町村社協会長・役員・事務局長研究協議会	東京都社会福祉協議会	8
10/6・7	中堅職員研修	東京都社会福祉協議会	2
11月	年末調整セミナー	応研株式会社	1
11/20	ボランティアコーディネーション力検定（2級）	日本ボランティアコーディネーター協会	3
12月	関東大震災100年とこれからの市民防災	東京都災害ボランティアセンターアクションプラン推進会議	1
12/13	社協における重層的支援体制整備事業の取り組み	全国社会福祉協議会	6
1月～2月	苦情解決担当者研修 ※動画配信	東京都福祉人材センター研修室	1
2月	ファンドレイジング日本2023	認定NPO法人日本ファンドレイジング協会	6

⑦災害対応に関する事業

⑦-a 災害時相互支援協定に基づく活動

ア. 北区及びNP0 法人東京都北区市民活動推進機構との協定に基づく活動

A. 連絡会議の実施（実施日：5/12、7/13、8/12、10/5、12/6、1/24、3/15）

内容	北区災害ボランティア事業に関する協議
会場	北区 NP0・ボランティアぷらざおよびオンライン会議
参加者数(人) ※()内は参加人数	5/12：(4)、7/13：(7)、8/12：(5)、10/5：(6)、12/6：(7)、1/24：(7)、 3/15：(7)

B. 共催事業の開催

開催日	内 容	参加人数(人)
2/25	北区災害ボランティアセンター共催事業「災害ボランティアセンターの立ち上げを体験してみよう！」	27

イ. 城北ブロック協定に基づく活動

A. 連絡会議の実施（実施日：7/6、8/10、10/5、2/7）

内容	年間活動計画に関する協議等
会場	北区社会福祉協議会、荒川区社会福祉協議会
参加者数(人) ※()内は参加人数	7/6：(15)、8/10：(12)、10/5：(14)、2/7：(14)

B. 城北ブロック災害連携講座の開催

内容	令和4年度は開催なし
----	------------

ウ. いわき市社協および前橋市社協との協定に基づく活動

内容	令和4年度は開催なし
----	------------

⑦-b 防災関連会議、イベント等への参加

開催日	内 容	参加人数(人)
10/15	水道サポーター交流会（水道局主催）	1

⑦-c 訓練等の実施

開催日	内 容	備 考	参加人数(人)
5/30	災害新任職員研修（北社協備蓄品の確認、使用方法説明）	内部研修	4
2/15	職場内災害研修（北社協 BCP 作成のポイント）	内部研修	20

⑦-d スタッフ養成研修等への参加

実施日	内 容	参加者数 (人)
6/21	新型コロナウイルス下における避難所での感染対策勉強会'22 (東京都災害ボランティアセンターアクションプラン推進会議主催)	2
12/21・2/21	「災害時のための市民協働 東京憲章」連続勉強会 関東大震災 100年とこれからの市民防災 (東京都災害ボランティアセンターアクションプラン推進会議主催)	1

(2) 調査・研究・企画・広報事業 (14,965千円)

① 広報紙「きたふくし」発行

年6回(奇数月15日)発行

各199,000部発行(カラー刷り) 区内全戸にポスティング。

号	発行日	主 な 掲 載 記 事
第166号	5/15	<p>【1面】 北社協の令和4年度の予算が決まりました</p> <p>【2面】 北社協の令和4年度の重点的な取組み 北区子ども・若者応援基金助成事業がスタートしました</p> <p>【3面】 権利擁護センター「あんしん北」より親族後見人への支援について 友愛ホームサービスサポートスタッフ募集説明会 福祉のしごと総合フェア 就職 相談・面接会について</p> <p>【4面】 役員就任のお知らせ 広報協力店のご紹介! ご寄付ありがとうございました</p>
第167号	7/15	<p>【1面】 第4次北区地域福祉活動計画 (アンケートのご協力ありがとうございました!)</p> <p>【2面】 1面アンケート結果の続き 令和3年度決算報告 令和3年度の主な取り組みをご紹介します</p> <p>【3面】 子ども・若者応援基金活動報告 受験生チャレンジ支援貸付事業貸付金申込受付開始 ぷらっとほーむの季刊誌をご覧ください! 役員等就任のお知らせ</p> <p>【4面】 ふくしの動画作りました! 「あんしん北」専門相談、ご寄付ありがとうございました</p>
第168号	9/15	<p>【1面】 「今から考える、老い支度」講座 10月1日よりスタート 赤い羽根共同募金にご協力をお願いします!</p> <p>【2面】 高校・大学などへの進学を応援します!(受験生チャレンジ) 北区くらしとしごと相談センター主催講座 福祉のしごと総合フェア 就職 相談・面接会について ご寄付ありがとうございました</p>
第169号	11/15	<p>【1面】 歳末たすけあい募金をはじめます!</p> <p>【2面】 歳末たすけあい募金、募金を財源に活動している団体のご紹介 令和4年度 受験生チャレンジ支援貸付事業貸付金</p> <p>【3面】 子ども・若者応援基金(活動報告・個人チャレンジ助成) 学習支援教室ボランティア募集 プログラミングチャレンジボランティア募集 小学生職業体験参加者募集</p> <p>【4面】 権利擁護センター「あんしん北」より福祉サービスの利用について ご寄付ありがとうございました</p>

号	発行日	主 な 掲 載 記 事
第170号	1/15	<p>【1面】 年始のご挨拶 フェイスブックでの活動報告のご紹介 おちゃのこ祭祭のご報告</p> <p>【2面】 子ども・若者応援基金 「個人助成、団体助成」お申込み受付中！ 友愛ホームサービス サポートスタッフ募集説明会 令和5年度 歳末たすけあい・地域福祉募金助成 「新規申込み団体向け助成金説明会」のご案内 福祉のしごと総合フェア 就職 相談・面接会について ご寄付、ありがとうございました</p>
第171号	3/15	<p>【1面】 赤い羽根共同募金、歳末たすけあい地域福祉募金へのご協力の御礼</p> <p>【2面】 シリーズ・北社協70周年① 創立期の北社協 学習支援教室 ボランティア募集 子ども・若者応援基金よりプログラミング講座ボランティア募集 北区子ども食堂ネットワークのご紹介</p> <p>【3面】 権利擁護センター「あんしん北」のご紹介、生活支援員募集 令和4年度 「今から考える、老い支度」連続講座</p> <p>【4面】 評議員就任のお知らせ 株式会社なとり様よりご寄付を賜りました ご寄付、ありがとうございました</p>

## ② ホームページの運営管理

### ホームページの積極的活用

#### ア. トップページバナーを利用した情報発信

イベント告知やきたふくし記事などを紹介。

#### イ. QRコードの活用

ホームページのアクセス向上をめざし、きたふくしやチラシにQRコードを掲載。

## ③ フェイスブックページ/インスタグラムの活用

新型コロナウイルス感染症の影響による活動やその報告など、広く地域の方々向けに情報を発信。

民生委員児童委員協議会にてフェイスブックまとめ記事による月次報告を行った。

## ④ 北区社会福祉協議会各事業の機関紙

ア. 友愛ホームサービス機関紙「ゆうあい」（年4回）を発行。

イ. 地域ささえあい団体広報紙「ささえあい新聞」（年4回）を発行。

定期発行（偶数月15日）

⑤ 地域の行事参加

新型コロナウイルス感染症の影響により、参加実績なし。

※地域福祉係の職員が参加した行事は、4. 地域福祉・ボランティア活動推進事業サービス区分  
関連事業のページを参照。(P39～)

※介護予防拠点施設(ふらっとほーむ)の職員が参加した行事は、Ⅲ. 1. 桐ヶ丘介護予防拠点  
施設事業、2. 滝野川東介護予防拠点施設事業のページを参照。(P80～)

⑥ 出前講座

新型コロナウイルス感染症の影響により、出前講座は開催せず。

※権利擁護センター「あんしん北」が行った出前講座については、7. (1) 権利擁護センター  
「あんしん北」事業のページを参照。(P51～)

(3) 連絡調整事業 (2,257 千円)

① 福祉のしごと総合フェア（北区から受託）

区内の福祉施設を中心とした福祉事業所による、就職合同相談・面接会。

北区、北区社会福祉協議会、東京都福祉人材センター、ハローワーク王子の計4者共催で下記の内容で開催した。

開催回数	開催日	会場	参加事業所数 (法人)	参加者 (人)	採用者 (人)
第1回	7/29	北とぴあ飛鳥ホール	19	41	7
第2回	10/7	北とぴあ飛鳥ホール	21	52	13
第3回	2/10	北とぴあ飛鳥ホール	24	41	7
合計			64	134	27

令和4年度福祉のしごと総合フェアにて求人ブース出展をした法人(順不同)

第1回(7/29)

	法人名	分野
1	東京福祉サービス株式会社	高齢
2	合同会社ななは	高齢
3	社会福祉法人晴山会	高齢
4	セントケア東京株式会社	高齢
5	社会福祉法人新栄会	高齢
6	株式会社矢嶋商店	高齢
7	株式会社川島コーポレーション	高齢
8	宝ケア株式会社	高齢
9	株式会社大起エンゼルヘルプ	高齢
10	株式会社ハンドベル・ケア	高齢
11	社会福祉法人ウエルガーデン	高齢
12	株式会社 You 優 Care	高齢
13	株式会社ケアネット・トキ	高齢
14	社会福祉法人ドリームヴィ	障がい
15	特定非営利活動法人わくわくかん	障がい
16	株式会社学研ココファン・ナーサリー	保育
17	株式会社 fes パートナーズ	保育
18	社会福祉法人東萌会	保育
19	株式会社さくらいふ	保育

第2回(10/7)

	法人名	分野
1	医療法人杏林会	高齢
2	株式会社やさしい手	高齢
3	株式会社京北健友会	高齢
4	セントケア東京株式会社	高齢
5	社会福祉法人うらら	高齢
6	東京ほくと医療生活協同組合	高齢
7	社会福祉法人ウエルガーデン	高齢
8	株式会社ケア21	高齢
9	東京海上日動ベターライフサービス株式会社	高齢
10	社会福祉法人晴山会	高齢
11	合同会社ななは	高齢
12	ケアウエル安心株式会社	高齢
13	区民介護株式会社	高齢
14	社会福祉法人東京都福祉事業協会	高齢
15	株式会社ソラスト	高齢
16	株式会社ヒロプランニング	高齢
17	特定非営利活動法人あいアイ	障がい
18	株式会社 fes パートナーズ	保育
19	株式会社アイグラン	保育
20	社会福祉法人豊川保育園	保育
21	株式会社さくらいふ	保育



第3回 (2/10)

	法人名	分野
1	株式会社トリードアート	高齢
2	株式会社愛誠会	高齢
3	生活協同組合コープみらい	高齢
4	医療法人杏林会	高齢
5	社会福祉法人うらら	高齢
6	株式会社ベネッセスタイルケア	高齢
7	株式会社ケアネット・トキ	高齢
8	社会福祉法人晴山会	高齢
9	東京福祉サービス株式会社	高齢
10	セントケア東京株式会社	高齢
11	医療法人社団田島厚生会	高齢
12	株式会社ケア 21	高齢
13	宝ケア株式会社	高齢
14	株式会社大起エンゼルヘルプ	高齢
15	社会福祉法人東京都福祉事業協会	高齢
16	株式会社川島コーポレーション	高齢
17	株式会社矢嶋商店	高齢
18	合同会社ななは	障がい
19	特定非営利活動法人マドレーヌ 21	障がい
20	社会福祉法人あゆみ	障がい
21	社会福祉法人ドリームヴィイ	障がい
22	株式会社チャイルド・スマイル	保育
23	一般社団法人サンベビー保育園	保育
24	社会福祉法人讃仰会	保育

② 福祉事業者向け研修会(北区から受託)

福祉事業所の職員定着化支援のため、職場定着や職員のスキル向上のための研修会を行った。

No.	研修名	開催日	会場	参加人数 (人)
1	相乗効果を実感！チームワーク研修	7/7	岸町ふれあい館第5集会室	26
2	コミュニケーション研修	8/16	岸町ふれあい館第5集会室	23
3	その時、あなたは？利用者は？災害対応研修	10/21	岸町ふれあい館第5集会室	22
4	福祉職員のためのメンタルヘルス研修	11/25	岸町ふれあい館第5集会室	25
5	ビジネス文書研修	12/6	岸町ふれあい館第5集会室	13
6	ハラスメント研修	2/3	岸町ふれあい館第5集会室	25
合計				134
(カッコ内は令和3年度実績)				(81)

③ 実習生等の受入

No.	実習名	実施日	学校名・団体名
1	公的機関見学(実習)		受入なし
2	新任職員現場実習		受入なし
3	ソーシャルワーク実習Ⅰ	8/4~9/16 (24日間)	東洋大学ライフデザイン学部 東洋大学社会学部 東京家政大学人文学部 上智大学総合人間科学部より1名ずつ受入(計4名)
4	ソーシャルワーク実習Ⅱ	6/10~12/5 (5日間)	東洋大学ライフデザイン学部より受入(計10名)
5	障がい者就労体験		受入なし

④ 社会福祉法人との連携

ア. 北区社会福祉法人部会

社会福祉法人による地域公益活動の取り組みを推進するため、平成28年度に設置した北区社会福祉法人部会において、以下の取り組みを実施した。

#### A. 北区社会福祉法人部会の開催

新型コロナウイルス感染症の影響により、活動が進まなかった北区社会福祉法人部会としての今後の地域公益活動について考える会を開催した。会の当日は、大学の准教授や実際に区内や区外で法人連携での活動を行っている方を招き、「地域公益活動とは何か?」といった基礎的な問いや、地域公益活動を法人同士が連携して行うためのヒント、また、一緒に活動をすることのメリットについてなどをテーマとし開催した。

開催日	開催内容	参加法人数 (法人)
2/17	1. パネルディスカッション 講師：早坂聡久氏（東洋大学ライフデザイン学部准教授） 鈴木大樹氏（江戸川区立障害者就労支援センター 所長） 2. グループディスカッション （法人同士で連携をしてできる地域公益活動についての案出し）	25

#### B. 北区社会福祉法人部会幹事会

今後の北区社会福祉法人部会をより円滑に運営していくため、以下のとおり幹事会を開催した。

開催日		内容
9/26	幹事会	今年度の部会運営について
11/1	幹事会	2月実施予定の北区社会福祉法人部会について
12/9	幹事会	2月実施予定の北区社会福祉法人部会について

#### イ. 桐ヶ丘サロンあかしやの支援

誰でもふらっと立ち寄れる居場所・交流・出会いの場として、(福)ドリームヴィ、(福)東京聖労院、北区社会福祉協議会が協力して、住民主体で運営することを大切にしながら、地域支援ネットワーク事業として運営している。

※運営支援の詳細については 2. 地域福祉事業サービス区分関連事業にある CSW の活動報告を参照。(P20～)

(4) 岸町ふれあい館運営（北区から受託）（6,816 千円）

館内施設名	区分	年間合計
第1集会室（定員21人）	利用件数（件）	595
	利用人数（人）	4,545
	利用率（%）	57.2
和室（定員12人） 高齢者福祉コーナー	利用件数（件）	113
	利用人数（人）	1,309
	利用率（%）	32.6

\* 集会室の定員は、テーブル使用時の人数

\* 集会室の貸出は午前、午後、夜間の3コマで、それぞれ利用1件とカウントする（1日最高計3件）  
ただし、和室は、午前・午後は高齢者福祉コーナーとして使用しているため、一般貸出は夜間の1コマのみ

\* 利用率＝利用件数／総貸出可能コマ数

【新型コロナウイルス感染症の影響によるふれあい館運営への影響】

①一般貸出の際の使用制限等

②北区・北社協による占有（用途・期間）

館内施設名	用途	期間
第2集会室（定員45人）	権利擁護センター・あんしん北事務局	令和3年4/1～ 現在※
第3集会室（定員24人）	北区くらしとしごと相談センター 就労支援コーナー（受託：パソナ）	令和3年4/1～ 現在※
第5集会室（定員108人）	北区役所庁用会議室（総務課管理）	令和2年9/1～ 現在※

※令和5年度も引き続き利用継続。

## (5) 基金運営事業 (1,030 千円)

### ① 子ども・若者応援基金

子どもたち、若者たちの育つ力をささえる地域を目指し、「体験・経験」の格差を埋める助成実施のための基金として、令和4年度からは助成プログラムをスタートさせた。

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、イベント等で大々的な広報はできなかったものの、北区社会福祉協議会の広報紙やホームページ、フェイスブックを活用して、基金の周知に努めた。

#### ア. 子ども・若者応援基金運営委員会活動状況

No.	開催日	参加者(人)	内 容
1	11/16	15	第1回運営委員会
2	1/20	13	広報分科会
3	2/22	14	審査分科会
4	3/2	16	第2回運営委員会

#### イ. 子ども・若者応援基金の指定寄付

項目	件数	区分	金額(円)
原資寄付	15	収入	632,000
事業寄付	18	収入	1,293,457

### ② 個人チャレンジ助成 (モデル実施)

令和4年度については基金設置後間もない事もあり、事業寄付が十分でない事から、個人チャレンジ助成をモデル実施することとなった。地域のボランティア講師によるプログラミング講座「プログラミングチャレンジ」、イラストレーター及び、心理ケア専門家の「夢絵師プロジェクト」の2つのプログラムについて実施した。

#### ア. プログラミングチャレンジ

地域ボランティア講師による本格的でわかりやすいプログラミング講座として実施。

基金を財源として、子どもたちの使用するパソコンを始め、教材を購入し、参加者は無料で参加することが出来た。

ボランティア講師についても、日本や世界を代表する IT 企業のエンジニアを始め、大学教授、講師、大学生など様々なボランティアスタッフが参加し、単にプログラミングを学ぶ場という事だけでなく、多様な世代、職業の大人との出会いの場となった。

1年の総まとめとして行った卒業発表会では、子ども達がマシン言語の Python を駆使して、それぞれがオリジナルのゲームを作り、参加者、保護者などに遊んでもらうといった企画を行った。

項目	項目 2	備考
本講座	原則毎週水曜日 17:00~18:30	プログラミング講座
英語サポート講座	原則毎週金曜日 16:30~17:30	プログラミングに必要な英語サポート
対象	小学4年生~6年生 12名	応募者より選考
ボランティア	地域ボランティア、NECプロボノ倶楽部 約40名	区内外より参加
内容	第1期 パソコンの基本操作 第2期 ブロックリーゲーム 第3期 code.org 第4期 Python	講師ボランティアがカリキュラムを作成し、初めてPCを操作する子どもでも取り組みやすいように設定

### イ. 夢絵師プロジェクト

2つ目のモデル助成事業として、小学6年生の児童がイラストレーターと心理ケアの専門家の夢を体験するためのプログラムに参加した。

プログラムのタイトルになっている「夢絵師」はデジタルイラストを活用したイラストレーターとして認知されつつあり、助成金を画材購入の他、美術館、展覧会等の参加費、交通費として活用した。

イラストレーターに関しては、東京家政大学家政学部造形表現学科に、心理ケアに関しては日本女子大学人間社会学部心理学科に協力依頼し、大学訪問や学生、教員へのインタビューを通して、それぞれの仕事やスキルに関して理解を深めることが出来るように北区社会福祉協議会がコーディネートした。

No.	実施日	内容
1	5/26	東京家政大学事前打ち合わせ（職員のみ）
2	7/2	東京家政大学見学・インタビュー訪問（イラストレーター）
3	7/30	日本女子大学見学・インタビュー訪問（心理ケア）
4	8/16	国立西洋美術館（自然と人のダイアログ フリードリヒ、モネ、ゴッホからリヒターまで）
5	8/31	森アーツギャラリー（特別展アリス-へんてこりん へんてこりんな世界-）
6	9/1	東京家政大学 アートキャンプ訪問
7	10/9	角川武蔵野カルチャーミュージアム
8	11/12	西武池袋本店 別館2階 西武ギャラリー（バンクシー&ストリートアーティスト展）
9	11/26	東京アニメセンターin DNP プラザ渋谷（Dream Collaboration Festival ドリコラ Fes.）
10	2月	デラックス東京ビーチ（マダムタッソー展）
11	2/12	池袋サンシャイン展示ホール（全プリキュア展）

12	2/16	東京家政大学 卒業制作展訪問
13	3/19	三鷹の森ジブリ美術館（三鷹の森ジブリ美術館）
14	3/27	池袋 PARCO 本館 7F・PARCO FACTORY（おぱんちゅうさぎ展）

## 2. 地域福祉事業サービス区分関連事業

(事務事業費4,493千円、人件費39,981千円)

### (1) 地域福祉ネットワーク事業

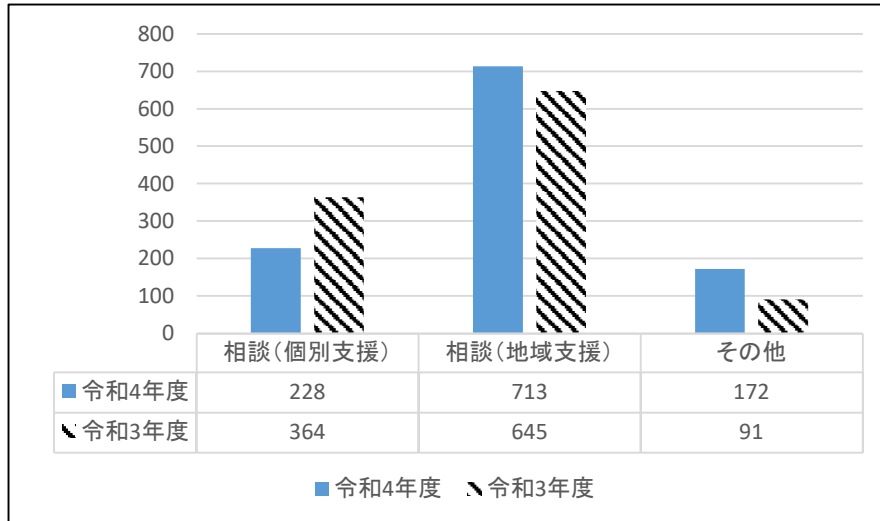
(44,119千円)

#### ① コミュニティソーシャルワーク

##### (ア) 行動記録

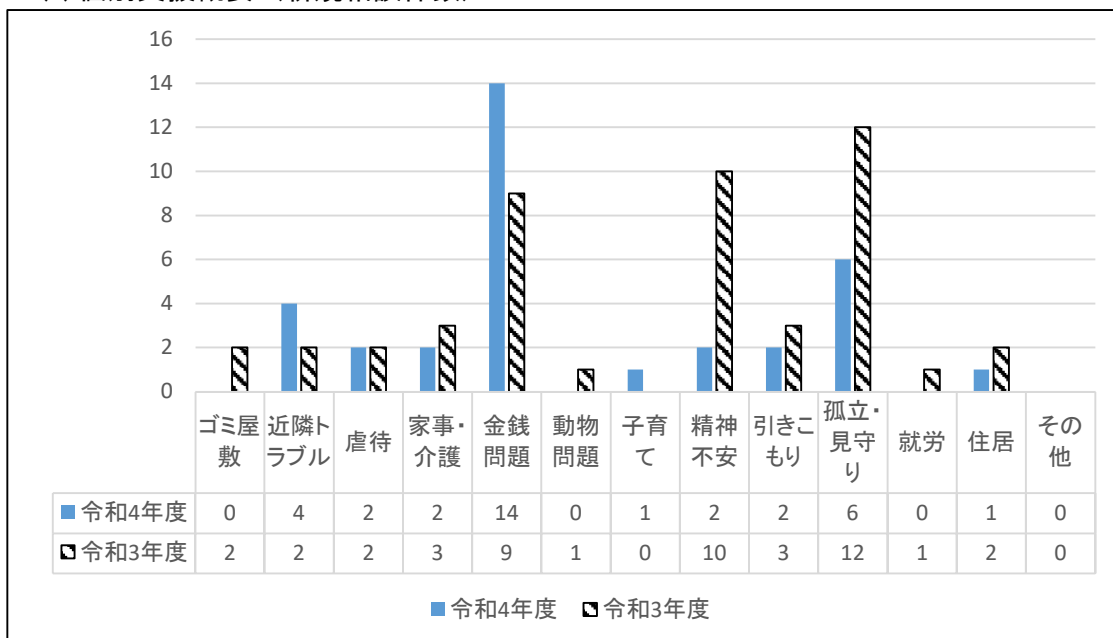
##### (A) 神谷・東十条地区の取り組み

##### (a) 活動内容及び件数



個別支援の件数は減少したが、地域支援の件数が昨年と比べて増加した。コロナ禍で休止していた活動も再開され活動回数を増やしたり、参加者を増やすための工夫をする団体も増えCSWとして地域支援の運営支援、団体間のネットワーク形成に注力した一年であった。

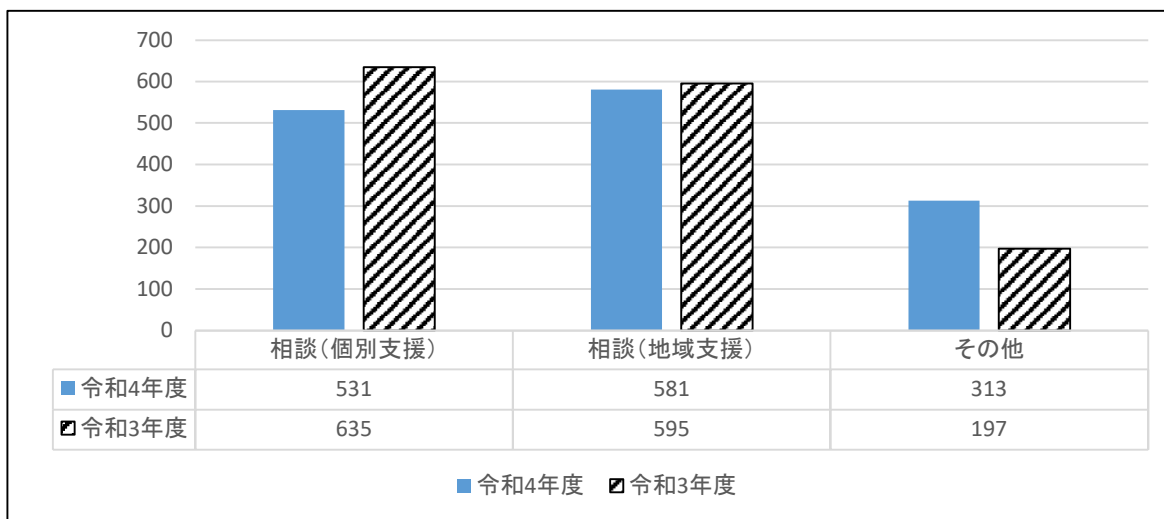
##### (b) 個別支援概要 (新規相談件数)



個別支援相談件数は昨年と比較すると微減であったが概要について金銭問題が増加している。コロナ禍で外出する機会を減らしたことで身体的に外出できない状態で日常的な金銭管理ができないといった相談内容も多くあった。相談先として高齢者あんしんセンターからの相談もあったが、再開した地域活動の中での相談も複数あった。今後はより地域活動の展開に努め、地域の居場所の中での見守りを強化していく。

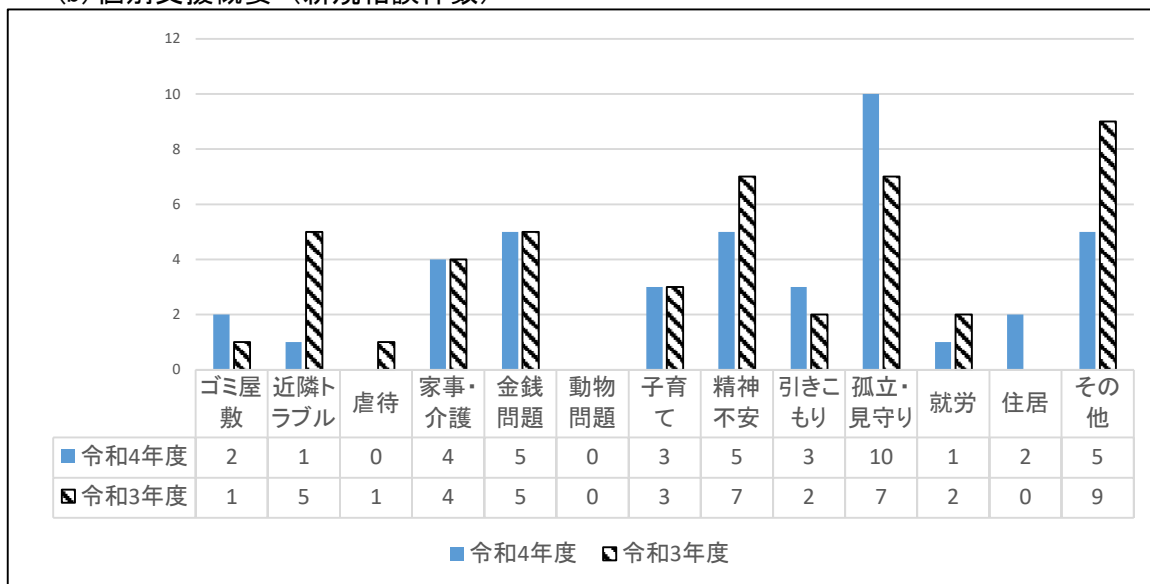


(B) 桐ヶ丘地区の取り組み  
(a) 活動内容及び件数



個別支援の新規ケース数は昨年度とほとんど変わらないが、支援回数は減少した。関係機関と連携し、直接支援を実施した件数が少ないことも起因していると考えられる。地域支援の件数は昨年とほぼ変化なし。今年度は「子どもの居場所立ち上げ」や「外国籍ニーズのアセスメント」といった点に注力し、地域内のネットワーク形成を行った一年であった。その他の件数増加については、Facebook・instagram等を活用した広報啓発を意識的に実施した回数が多いことによる。

(b) 個別支援概要（新規相談件数）



個別支援概要については「家事・介護」「子育て」「引きこもり」「孤立・見守り」といった相談は例年新規ケースがみられる。「高齢」「障がい」「子ども」といった特定の分野だけではない、複合課題やフォーマルサービスでは対応できない相談があった。引き続き個別課題を把握できるような地域のネットワーク形成を図っていく。

(イ) 第4次北区地域福祉活動計画・重点項目に基づく活動

(A) 地域ごとの連携を進めるためのコーディネート機能の強化

～地域支援における支援プロセスの可視化～

令和3年度から継続し「地域支援の活動計画」と「評価指標」を用いた支援プロセスを可視化した中で業務に取り組んだ。半期に一度担当間で「地域支援の活動計画」を用いてモニタリングも行った。

(B) 分野ごとの連携を深め、分野・セクターを超えた新たな連携を進める

～子どもを支援する団体・機関のネットワーク形成（神谷・東十条編）～

セクターを超えてさまざまな団体や機関が連携して地域課題に取り組める場づくりをおこなった。子ども食堂や不登校の子を持つ親のネットワークを作る活動団体、スクールソーシャルワーカー、主任児童委員、児童館、子どもセンター、保護司がそれぞれどんな取り組みをおこない、どんな課題意識を持ちながら子どもたちに関わっているのか意見交換を重ねた。（年間5回）

～地域活動団体・関係機関によるバングラデシュ国籍住民のニーズ把握と関係形成（桐ヶ丘編）～

近隣保育園を中心に地域活動団体や民生児童委員、地域関係者などとともに桐ヶ丘地区で把握していた「バングラデシュ国籍住民の地域ニーズ」の把握や情報・課題を共有する場づくりを行った。バングラデシュ国籍住民のキーパーソンにも参加していただき、どのような課題があるのか、地域とどのような繋がりを作っていきたいかなどを伺いつつ、地域の中でどのようなことができるかの意見交換を行った。（全3回）

(C) 住民同士がささえあう仕組みづくり

～コロナ禍で休止している活動団体への再開支援～（神谷・東十条編）

都営住宅の集会所を活用して活動している団体が自治会の理解を得ることができず活動再開に至らず悩んでいた。

CSWとして再開の活路を見出すべく団体間が情報交換する場を設けた。他団体より会場の資源共有があり別の会場で再開することになったのだが、コロナ禍でのフレイルにより参加者が別会場まで歩いて参加することが難しく多くの方が参加を見送った。団体に寄り添い新たな方法を活動メンバーと打合せを重ね、ボランティアの方のひとりの自宅を開放した「住み開き型サロン」の実施をおこなうことになった。

運営支援の一環で家主の負担が多くなるように、コロナ禍での感染予防も行った状況で実施できるようにCSWとして運営方法について助言しつつ準備した。その中で他のボランティアからは家主に申し訳ない、やはりひとりに負担が掛かるという話もその後の話し合いで意見が出て、再度自治会に働きかけ集会所での再開を目指した。

理解を得られ、感染予防対策を講じつつ3年ぶりにコロナ禍前に実施していた状況で再開することができた。別会場での実施や住み開き型サロンをおこなうなど二転三転しつつ今まで実施していた会場で再開するに至ったが、CSWとしてこうした方がいいと決めつけるのではなく、ボランティアや参加者と意見交換を十分におこなったことで団体として活動の目的の再確認、本来活動に巻き込みたいメインターゲットに対しての活動運営ができることとなった。

～障がい当事者の社会参加と子ども食堂の新たな機能追加支援～（桐ヶ丘編）

発達凸凹がある高校生について、高校を卒業し社会進出する前に色々なことに慣れるということも含め、ボランティアをしたいという相談をいただいた。

本人は当初、対人のボランティアは行いたくないという話であったのだが、ぶらっとほむむにてコロナ禍に実施していた「おうちでボランティア」を通じて、徐々に対人のボランティアを実施したいという話が合った。その後CSWとして、本人の希望等を丁寧に伺い、エリア内の子ども食堂へボランティアとして参加と近隣民生委員への見守り依頼を含めたコーディネートを行った。数か月間、本人自身もやりがいを感じていたようで、楽しみながら子ども食堂のボランティアとして活動していた。子ども食堂に来ているお子さんやボランティアの方々と丁寧にコミュニケーション能力をとっており、これまでみることでできなかった様々な魅力があることが把握された。

団体への運営支援・地域への障がい理解・啓発の一環として、受入れをしてくださった2箇所の子どもの食堂、高校の担当、区内障がい当事者団体の交流の場を設け、「本人のこれまでの経過共有」「ボランティア時の様子を各子ども食堂から共有」「高校の担当から学校の様子の変化を共有」してもらい、障がい当事者団体よりフィードバックをしていただいた。「発達に凸凹のある本人にとって子ども食堂が「安全だな」と本人のなかで思える場所になっており、自己肯定感を得られているなかなか無い経験を積むことができるのもいい場になっているのだと思う。」とのことであった。本人にとっては地域の子どもの食堂という場が社会との接点をつくり、様々な経験を積みさせてもらえる場となっていた。また、子ども食堂にとっても素敵な接客をしてくれるボランティアであり、障がい理解を進ませるきっかけであった。「ささえる、ささえられる」という関係性ではなく、相互に影響を与えていた。

④第1層生活支援コーディネーター受託事業実施報告（北区より委託）

北区全域を対象とする第1層の生活支援コーディネーターとして、行政担当者、各地域包括支援センターに配置されている第2層の生活支援コーディネーターと共に、高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的とし、地域において、生活支援等サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート業務を行った。

(ア) 地域の社会資源把握に関する事

No.	内容	詳細
1	ミルモネットについて打ち合わせ	長寿支援課と今後の方向性について検討
2	ウェルモとの打ち合わせ	7月に長寿支援課・ウェルモと今後の動きの検討

(イ) 生活支援の担い手養成、サービス開発に関する相談支援

No	地域（センター名）	団体名（プロジェクト名）
1	みずべの苑	志茂ジェネ協議会
		しもぞうハウス常設拠点についての打ち合わせ
		新たな社会資源の発掘
		志茂4丁目マップ作り
2	赤羽北・桐ヶ丘共同事業	赤北3さんミーティング
3	王子光照苑	担い手づくり説明会
		コーシン王子マンション「わたしたちの街座談会」
4	十条台	地域包括ケア連絡会から派生した自治会と学校とのつなぎ
5	滝野川はくちょう	新たな集い場の創出に関する打ち合わせ
6	豊島	協議体打ち合わせ
		豊島5丁目団地 地域ケア会議～分析結果からの新企画 kick offミーティング～
7	昭和町・堀船	住んで良かった堀船プロジェクト（協議体）
8	昭和町堀船・新町光陽苑・滝野川はくちょう合同企画	貝塚マルシェ企画
9	西が丘	北桜高校と連携の打ち合わせ
10	長寿支援課	担い手づくり講演会
11	十条	こころとからだの元気ラボ・オンラインサロン企画
12	新町光陽苑	東田端2丁目エリアへのアプローチ
13		田端新町ことぶき会へのアプローチ
14	浮間	エリアの社会福祉法人の連携ネットワーク会議
15	桐ヶ丘	協議体の方向性相談
16	東十条神谷	アンケートフォローアップ事業
17	西が丘・桐ヶ丘合同企画	おやじのたまり場（仮）

(ウ) 地域包括ケア連絡会（2層協議体）及び地域ケア個別会議に関すること

<地域包括ケア連絡会>

【高齢相談係主催】

No.	地域	開催日	内容・役割
1	おたがいさま 地域創生会議 (第1回)	7/15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1層生活支援コーディネーターの活動方針について</li> <li>・3圏域地域包括ケア連絡会開催予定について</li> <li>・委員からの活動報告</li> </ul> 商店街移動販売について（意見交換） 豊島高齢者あんしんセンターおたがいさまネットワークについて（報告後方支援・協議体開催についての相談）
2	おたがいさま 地域創生会議 (第2回)	3/23	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1層生活支援コーディネーターの活動報告</li> <li>・3圏域地域包括ケア連絡会報告</li> </ul> （報告後方支援・身近な地域の居場所報告）

【3圏域主催】

No.	地域	開催日	内容
1	王子	10/19	テーマ： 地域のつながりの大切さpartⅢ～孤立を支えるコツ～
2	赤羽	12/10	テーマ： 地域のつながりを広げよう～知ることからはじまる縁～
3	滝野川	11/9	テーマ： その人らしい地域とのつながり方を見つけよう

(エ) 定例会議における情報交換、打ち合わせ、検討

No.	会議名
1	生活支援体制整備事業連絡会
2	王子圏域見守りコーディネーター会議
3	赤羽圏域見守りコーディネーター会議
4	滝野川圏域見守りコーディネーター会議
5	実務者レベル打ち合わせ
6	高齢相談係・長寿支援課との打ち合わせ
7	東京都生活支援体制整備事業連絡会
8	きらりあ運営委員会

(オ) 北区社会福祉協議会からの働きかけによる取り組み

仕様書の実施内容における、(A) 資源調査、(B) 資源開発、(C) ネットワーク構築、(D) ニーズと取り組みのマッチング、(E) 協議体に関わる取り組みとして実施

No.	取組み事業名	内容
1	ささえあい交流会	北区社会福祉協議会が登録している地域ささえあい活動団体の交流会を開催。SCとのネットワーク構築の機会ともなるため声掛けを行う。
2	東洋大学ライフデザイン学科認知症サポーター養成講座コーディネート	東洋大学よりライフデザイン学部1年生120名に向けての養成講座の依頼あり。今後地域に出ていく勉強のための社会資源紹介やグループワークのコーディネートを依頼される。赤羽圏域のSCの協力を得て開催。
3	赤羽・神谷エリアとの情報共有	赤羽高齢者あんしんセンターより「赤羽南2丁目エリアでの社会資源開発が難しい」という相談を受け、東十条神谷高齢者あんしんセンター・神谷東十条CSWと一緒にエリアの境の社会資源について情報共有し、アプローチの仕方を一緒に考える。
4	王子光照苑でのPT派遣事業	東京都PT協会からの無料派遣事業を利用した地域づくり支援。
5	みずべの苑でのPT派遣事業	東京都PT協会からの無料派遣事業を利用した地域づくり支援。
6	昭和町・堀船でのPT派遣事業	東京都PT協会からの無料派遣事業を利用した地域づくり支援。
7	飛鳥晴山苑でのPT派遣事業	東京都PT協会からの無料派遣事業を利用した地域づくり支援。
8	赤羽でのPT派遣事業	東京都PT協会からの無料派遣事業を利用した地域づくり支援。
9	東洋大学授業での社会資源紹介	東洋大学ライフデザイン学部の「社会貢献活動入門」という授業で地域活動について紹介してほしいと依頼を受け赤羽圏域で作成した「活動紹介シート」を中心に紹介。
10	滝野川はくちょうでのPT派遣事業	東京都PT協会からの無料派遣事業を利用した地域づくり支援。

(カ) 生活支援コーディネーター研修実施に関すること

No.	日時	研修名・講師
1	4/19	新生活支援コーディネーターへの新任研修
2	1/13	生活支援コーディネーター研修 「男性主体の居場所づくりのヒント」 講師:長野県長寿社会開発センター 戸田千登美氏

(キ) 地域の社会資源把握に関すること

【1層コーディネーターによるヒアリング】

2層コーディネーターが把握している地域特性や課題、取り組み状況等を再確認することを目的にヒアリングを実施

No.	日時	高齢者あんしんセンター名	方法
1	5/10	赤羽	対面+zoom
2	5/13	豊島	対面
3	5/18	みずべの苑	対面
4	5/23	西が丘園	対面
5	5/24	昭和町・堀船	対面
6	5/25	十条	対面
7	5/30	十条台	対面
8	6/2	新町光陽苑	対面
9	6/6	東十条・神谷	対面
10	6/9	王子光照苑	対面
11	6/13	飛鳥山晴山苑	対面
12	6/14	滝野川はくちょう	対面
13	6/15	桐ヶ丘やまぶき荘	対面
14	6/20	赤羽北	対面
15	6/21	浮間	対面
16	6/24	滝野川西	対面

【長生きするなら北区が一番アンケートフォローアップ事業ヒアリング】

北区で行った全高齢者実態把握調査のフォローアップのヒアリングに参加し、地域の状況と今後の高齢者あんしんセンターとしての目標と一緒に把握をする。北区社会福祉協議会が参加したもののみ記載。

No.	日時	高齢者あんしんセンター名	方法
1	8/24	昭和町・堀船	対面
2	8/30	東十条・神谷	対面
3	9/2	王子光照苑	対面
4	9/5	豊島	対面
5	9/5	赤羽	対面
6	9/9	滝野川西	対面
7	9/12	桐ヶ丘やまぶき荘	対面
8	9/16	滝野川はくちょう	対面
9	9/26	十条	対面
10	9/26	浮間	対面
11	9/26	赤羽北	対面
12	9/29	西が丘園	対面

【長生きするなら北区が一番アンケートフォローアップ事業伴走支援】

北区で行った全高齢者実態把握調査のフォローアップ事業伴走支援のヒアリングに参加し、地域の状況と今後の高齢者あんしんセンターとしての目標を一緒に把握をした。（北区社会福祉協議会が参加したもののみ記載。）また、ほかのエリアについても随時情報を把握し、必要に応じて後方支援を行った。

No.	日時	高齢者あんしんセンター名	方法
1	11/8	新町光陽苑	対面
2	11/9	十条台	対面



## (2) 福祉教育・啓発事業 (283 千円)

本事業は、係横断の職員で編成する福祉学習プロジェクトチームが担当した。

### ① 事業内容

- ア. 学校での福祉学習プログラムの実施
- イ. 福祉学習プログラムへの助言、当事者講師等の紹介、物品・教材等の貸出
- ウ. 町会・自治会など地域の団体からの要請に応じ、体験プログラム等を実施
- エ. 福祉学習についての広報
- オ. 福祉学習プログラム開発等に係ること

### ② 実績

#### ア. 学校での福祉学習プログラムの実施

プログラムの実施にあたっては、各担当教員等にヒアリングし、希望に合ったプログラムを作成、実施している。

No.	実施校	対象 (年生)	プログラム名	講師など	開催日	参加者数 (人)
1	桐ヶ丘郷小学校	3	車イス体験／高齢者との交流	桐ヶ丘やまぶき荘高齢者 あんしんセンター 桐ヶ丘地区住民	9/13	72
2	堀船小学校	4	視覚障がい者の理解	鈴木幹雄氏（北区視覚障 害者福祉協会）	1/17	50
		5	肢体不自由児者の理解	小田利政氏（自立生活セ ンター・北）	3/2	47
3	浮間小学校	4	視覚障がい者の理解	視覚障がい当事者 中野 久美子氏（カモミ ールの会）	1/27	130
4	谷端小学校	3	視覚障がいへの理解（1） 盲導犬	視覚障がい当事者 白井公子氏 パートナー犬 オペラ	1/30	34
			視覚障がいへの理解（2） 白杖	視覚障がい当事者 権田さゆり氏	2/13	34
		5	高齢者の理解／認知症サポ ーター養成講座	滝野川西高齢者あんしん センター 松下職員	12/14	36
5	十条小学校	4	高齢者の理解	中十条三丁目町会 直井会長他 8 名	2/10	41

#### イ. 福祉学習プログラムへの助言、当事者講師等の紹介、物品・教材等の貸出

No.	実施校	対象 (年生)	プログラム名	内容	貸出日
1	東十条小学校	4	高齢者の理解	講師紹介、高齢者 体験グッズ等の貸出	2/16

ウ. 町会・自治会など地域の団体からの要請に応じ、体験プログラム等を実施

町会・自治会など地域の団体からの要請に応じ、福祉体験プログラム等を実施しているが、令和4年度は実施なし。

エ. 福祉学習についての広報

No.	広報の方法	内容
1	きたふくし掲載	福祉学習プログラムの実施概要等を掲載（5月号、11月号）
2	保護者向けに案内チラシを配布	福祉学習実施校の保護者向けに福祉学習プログラムと歳末たすけあい募金についての案内チラシを配布（区内過去プログラムを実施したうち4校）
3	福祉学習ニュースの周知	福祉学習プログラムと過去の実施例等を紹介する福祉学習ニュースを定例校園長会にて配布（7月）

オ. 福祉学習プログラム開発等に係ること

学校から要望が多い高齢者の理解、車いす体験、視覚障がい者の理解についてパッケージ化したプログラムを作成した。

（参考）学校で実施する福祉学習プログラムの例 ※実施校の希望により内容変更あり

No.	内 容	プログラム
1	視覚障がい ・見え方の違いの理解	障がいのある人の普段の生活を知る、疑似体験（アイマスク体験・ユニバーサルデザイン・スポーツ・ゲーム）、当事者からの講話（日常生活、児童・生徒に伝えたいこと）、グループワーク、まとめ（感想文）
2	補助犬の理解	当事者からの講話、補助犬法について（補助犬ユーザーってどんな人）、補助犬とのかかわり方、まとめ
3	肢体不自由の理解	車イス体験及び感想、当事者からの講話、まとめ
4	聴覚障がい ・聞こえ方の違いの理解	障がいのある人の普段の生活を知る、疑似体験（伝言ゲーム・DVD鑑賞など）、当事者からの講話（日常生活、児童・生徒に伝えたいこと）、まとめ（感想文）
5	高齢者の理解	高齢者疑似体験（聴力、視力、感覚の鈍さなど）、認知症サポーター養成講座の実施（北区高齢者あんしんセンターと共同）
6	地域ネットワーク	社協紹介DVD上映、パネルディスカッション（民生委員・児童委員、主任児童委員、保護司など地域の支援者の役割を事例にて紹介）、まとめ
7	ユニバーサルデザイン、ゆるスポーツ、ユニバーサルスポーツ	ユニバーサルデザイングッズ紹介・体験、ユニバーサルスポーツ紹介・体験（サウンドテーブルテニス）、まとめ
8	地域課題の理解	民生委員・児童委員講話、グループワーク（皆が住みやすいまちってどんなまちだろう）、まとめ
9	多様性の理解	宝物交換ゲームを通して様々な価値観を知る（自分の宝物を友達に紹介する） グループワーク（みんなの宝物は何か、みんなが仲良く暮らすにはどうしたらよいか）、まとめ
10	募金について	寄付や募金とは何か、さまざまな種類、使われ方など

(3) 援護事業 (72千円)

① 災害見舞金支給事業

区内在住の火災等の被災者に対し、見舞金を支給する。

区 分	世帯等	(円)	(件)	(円)
		単価	件 数	金 額
火災見舞金	一般	5,000	1	5,000
	単身	3,000	4	12,000
	死亡	5,000	0	0
	小計		5	17,000
水損見舞金	一般	5,000	5	25,000
	単身	3,000	10	30,000
	小計		15	55,000
水害見舞金	一般	5,000	0	0
	単身	3,000	0	0
	小計		0	0
総 計			20	72,000

### 3. 在宅福祉事業サービス区分関連事業

(事務事業費 16,058 千円、人件費 14,225 千円)

#### (1) 友愛ホームサービス事業 (21,595 千円)

##### ①友愛ホームサービス

地域の高齢者や障がいのある方などを対象に日常生活の簡単な手伝いをする住民参加型の有償在宅福祉サービスである。地域の方がサポートスタッフとして登録し、指定の研修を受講した後、家事や外出付き添いなどのサービスを行う。

【利用料】 900 円/時間 【年会費】 1,500 円

##### ア. 会員登録状況

##### A. サポートスタッフ (年代別内訳)

区分	～30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計	昨年度	差異
男性	0	1	3	3	5	2	14	24	△ 10
女性	3	13	32	33	38	5	124	159	△ 35
合計	3	14	35	36	43	7	138	183	△ 45
昨年度	6	15	35	49	65	13	183		
差異	△ 3	△ 1	0	△ 13	△ 22	△ 6	△ 45		

※3年に1度の更新があったため、サポートスタッフの減少があった。

##### B. - (a) 利用会員 (年代別内訳)

区分	～30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	昨年度	差異
男性	0	1	3	11	21	29	7	72	75	△ 3
女性	1	2	4	7	47	90	33	184	200	△ 16
合計	1	3	7	18	68	119	40	256	275	△ 19
昨年度	1	5	8	21	75	121	44	275		
差異	0	△ 2	△ 1	△ 3	△ 7	△ 2	△ 4	△ 19		

##### B. - (b) 利用会員 (対象別内訳)

区分	高齢者	障がい			その他	合計
		身体	知的	精神		
人数	236	8	4	7	1	256
昨年度	252	8	3	6	6	275
差異	△ 16	0	1	1	△ 5	△ 19

イ. 会員活動状況

A. 年間活動状況

区 分		4 年度	3 年度	差異
サポートスタッフ	年間活動数（人）	750	750	0
利用会員	新規利用数（世帯）	56	77	△ 21
	年間利用数（世帯）	1,483	1,463	20
活動件数（注1）		4,219	6,451	—
活動時間		5952:00	6005:00	△53:00

（注1）令和4年度と令和3年度の集計方法が異なったため年度の差異は記載せず（R4は1回の支援を1件としているが、R3は1回の支援に複数のサービス提供をした場合、その数を加算して集計した）

B. 年間収支状況

区 分	4 年度	3 年度	差異
年会費（円）	444,000	534,000	△ 90,000
うち高齢者生活援助サービス（円）	244,500	312,000	△ 67,500
利用料等（円）	5,366,308	5,438,072	△ 71,764
うち高齢者生活援助サービス（円）	1,944,200	2,081,200	△ 137,000
費用弁償等（円）	5,366,308	5,438,072	△ 71,764

※高齢者生活援助サービス・・・介護認定を受けており、且つ住民税の課税状況が非課税または生活保護世帯の利用会員

C. 年間入会状況

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	昨年度	差異
新規入会(人)	9	6	4	6	2	5	9	7	4	4	0	0	56	77	△ 21
うち高齢者生活援助サービス対象者(人)	4	3	3	6	1	3	3	1	3	4	0	0	31		

D. 年間利用状況

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計平均	昨年度	差異
利用世帯数	122	130	124	125	120	124	134	127	127	115	118	117	1,483	1,463	20
活動件数（注1）	346	351	411	350	344	347	371	350	340	316	321	372	4,219	6,451	—
総活動・利用時間	485	482	562	472	460	497	533	509	492	473	457	530	5952	6005	△53
サポートスタッフ活動人数（人）	64	62	64	64	60	61	69	61	64	58	61	62	750	750	0

E. 活動内容

内容	件数(件)	構成比(%)	昨年度(件)	差異(件)
外出付添	348	5.2	302	46
通院付添	295	4.4	339	△ 44
入退院支援	7	0.1	1	6
入院中生活支援	0	0.0	2	△ 2
家事援助	5,372	81.0	5,754	△ 382
その他 (草取り、大掃除、引っ越しの手伝いなど)	614	9.3	414	200
合計	6,636	100.0	6,812	△ 176

ウ. 研修会・交流会

研修会・交流会名	内 容	開催日	参加者数(人)
サポートスタッフ 養成研修	◇北区社会福祉協議会と友愛ホームサービス ◇高齢者の理解と支援 ◇車イス研修	7/14 2/14	29
	◇先輩サポートスタッフからの話 ◇リスクマネジメント ◇記録と報告	7/21 2/20	
サポートスタッフ ステップアップ 研修	株式会社キュービー：食をテーマにした講演会 楽しく食べて健康に！！！！	9/22	21
	ミニ老い支度講座 ～エンディングノートの書き方～	12/12	8
サポートスタッフ 更新説明会	①友愛ホームサービスについて ②事業報告 ③活動時の注意点 ④ちょこっとささえあいサービスについて ⑤加入保険・トラブルについて	3/9 2回 3/10 3回 3/14 2回 計7回実施	138

エ. 運営委員会

開催日	議 題	委員数(人)
11/2	(1) 委員長／副委員長の互選	12
	(2) 事業報告 ①令和3年度事業報告 ②令和4年度現況報告	
	(3) 住民参加型ささえあいサービス運営の課題について	
	(4) その他	
開催日	議 題	委員数(人)
3/3	(1) 事業報告 ①令和4年度現況報告 ②令和5年度事業計画案	9
	(2) 住民参加型ささえあいサービス運営の課題について	
	(3) 来年度の議題について	
	(4) その他	

オ. 職員研修・連絡会

研修名		開催日
住民参加型たすけあい活動部会コーディネーター学習会		
科目1「住民参加の理念とコーディネーターに求められる視点」		8/30
科目2「アセスメントやモニタリングの重要性とケース記録の取り方」		9/20
科目5〔時事研修〕アサーショントレーニングと怒りのコントロール		10/30
情報交換会		1/31
城北ブロック在宅福祉サービス事業連絡会		12/21
東京都在宅福祉サービス事業連絡会 第1回連絡協議会		2/16

カ. 新型コロナウイルス感染症等の対応

今年度は、政府・自治体からの行動制限等の発令がなかったため、活動制限等は行わなかった。

(利用者・サポートスタッフから活動停止等の申し出があった場合は個別対応を実施。)

感染者数が増加した時期に関しては、利用者・サポートスタッフともにコロナ感染・濃厚接触者の連絡が相次いたが、友愛の活動を通しての感染の報告はなかった。

機関紙等で感染予防の呼びかけ(マスク着用・消毒・換気)を継続的に行った。

②ちょこっとささえあいサービス事業

ア. 会員登録状況

A. ちょこっとスタッフ

今年度から、ちょこっとささえあいサービスと友愛ホームサービスのスタッフを兼任とすることにしたため、友愛ホームサービスのサポートスタッフと登録人数が同数となる。

B. 年間利用状況

(件)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨年度	差異
利用	1	1	4	1	0	1	0	4	2	0	0	1	15	10	5

C. 提供したサービス(重複あり)

内容	件数(件)	構成比(%)	昨年度	差異
電球・蛍光灯の取替え	2	13.3%	0	2
軽易な家具の移動	1	6.7%	2	△1
体調不良時の買い物代行	10	66.7%	2	8
簡単な家具の組み立て	0	0.0%	0	0
簡単な家電の配線	0	0.0%	0	0
他サービス利用までのつなぎ等の理由による掃除	0	0.0%	2	△2
その他(ごみ捨て、不用品整理、退院支援など)	2	13.3%	4	△2
合計	15	100.0%	10	5

**(2) その他の在宅福祉事業 (8,688千円)**

① おべんとご一緒サービス

地域で暮らす高齢者の孤立、福祉課題の早期発見と地域福祉の担い手作りを目的とし、ボランティアがお弁当を持って利用者宅に伺い、昼食を一緒にとりながら話し相手をする。令和4年度についても、新型コロナウイルス感染症の影響により前年度に引き続き事業実施を休止した。利用者、ボランティア等へのヒアリング等を通して、新たな孤立予防に対する社会資源の開発を検討する。

ア. 利用者数：4人

イ. 登録ボランティア数：49人

ウ. 活動実績：0回

② おべんとご一緒サロン（豊島高齢者あんしんセンターとの共催）

豊島5丁目団地わくわくステーションにて高齢者を対象としたお食事会を毎月2回開催

協力団体：傾聴クラブさんさん、傾聴クラブ「ハッピー」

令和4年度についても前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により活動を休止した。

③ ハンディキャブ運行事業

ア. 事業内容

A. ハンディキャブ（ワゴン車2台・軽ワゴン車1台）の運行及び貸し出し

イ. 実績

A. 年間利用件数

区分	令和4年度		令和3年度	
	合計	月平均	合計	月平均
利用件数（件）	84	7.0	113	9.4
走行距離（km）	5,184	432	6,088	507

B. ハンディキャブ会員

財源確保のため、本事業の独自会員制度を設置し利用者（会員）から会費を徴収

年会費（円）	令和4年度		令和3年度	
	利用会員数（人）	金額（円）	利用会員数（人）	金額（円）
2,000	22	44,000	26	52,000



④ 車イス貸出事業

ア. 事業内容

- A. 車イスの無料貸出（1年間を限度）
- B. 地域の拠点での貸出し（ぷらっとほーむ）

イ. 実績

A. 保有台数 46台 (令和5年3月31日現在)

ウ. 年間貸出件数 126 (件)

区分	令和4年度		令和3年度	
	合計	平均/月	合計	平均/月
予約件数	170	14.1	139	11.6
貸出件数	140	12.1	126	10.5
貸出台数	147	12.2	133	11.1

⑤ 車イスステーション事業

身近な生活圏で無料で車イスを借りることができるように、歳末たすけあい募金を財源として車イスを購入し、町会自治会や公共施設、商店等を「車イスステーション」として区民の利便性向上に努めている。

ア. 拠点数と台数

(台)

No.	区 分	令和4年度		令和3年度	
		設置箇所数	車イス台数	設置箇所数	車イス台数
1	町会自治会	136	227	138	228
2	地域振興室	18	27	18	27
3	福祉施設等	9	13	10	16
4	その他（商店等）	9	13	6	8
5	高齢者あんしんセンター	12	30	12	30
	合 計	184	310	184	309

イ. 車イスステーションへの訪問

車イスのメンテナンスや利用状況の確認を行いながら、地域の福祉課題の発掘や地域情報収集を行う。

No.	訪問地域	訪問日
1	桐ヶ丘・赤羽台	5/25
2	豊島・堀船	6/22
3	西が丘・赤羽	6/29
4	滝野川・西ヶ原	10/4
5	赤羽北・浮間	10/26
6	田端	11/1
7	王子	11/16
8	十条	2/15
9	志茂	3/8
10	東十条・神谷	3/22
11	東田端・西ヶ原・中里	3/28
12	桐ヶ丘	3/29

⑥ 紙おむつ支給事業

介護保険の認定を受けた方で、要支援・要介護度1～3の方および急遽入院され、常時紙おむつが必要な方に対して3カ月を限度に、歳末たすけあい募金を財源として紙おむつを支給する。

ア. 支給件数 (件)

	令和4年度	令和3年度
件数	344	381

イ. 支給枚数 (枚)

おむつタイプ	令和4年度	令和3年度
テープパンツ型	2,917	3,271
はくパンツ型	55,082	62,416
尿取りリパッド	55,200	60,120
合計	113,199	125,807

⑦ 財産保全サービス事業

高齢者、知的障がい者、精神障がい者のひとり暮らし世帯または対象者のみの世帯の方が安心して生活を続けていけるよう、保有する財産（預金通帳等）を金融機関の貸金庫に保管するサービス（年間利用料12,000円）を実施する。

(ア) 相談援助実績

(件)

項目	件数	内訳			
		高齢	知的	精神	その他
a. 問い合わせ件数	3	3	0	0	0
b. 初回相談件数	2	2	0	0	0
c. 相談援助件数	1	1	0	0	0
合計(件数)	6	6	0	0	0
相談援助時間(分)	45	45	0	0	0

(イ) 契約実績

(件)

項目	件数	内訳			
		高齢	知的	精神	その他
a. 今年度当初契約件数	0	0	0	0	0
b. 新規契約件数	0	0	0	0	0
c. 解約件数	0	0	0	0	0
合計(件数)	0	0	0	0	0

#### 4. 地域福祉・ボランティア活動推進事業サービス区分関連事業

(事務事業費1,905千円、人件費1,787千円)

##### (1) 地域福祉・ボランティア活動推進事業 (3,692千円)

###### ① 地域ささえあい活動団体助成 詳細は「5. 助成事業」に別掲

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも徐々に地域活動が再開され、昨年度と比較して申請件数が8件、金額にして323,000円増加した。また、新規団体の立ち上げが増え、体操等を通じて高齢者の孤立予防を目的とする団体や子育て支援を行う団体からの申請があった。その反面、会員の高齢化や後継者不足を理由として解散する団体や新型コロナウイルス感染症の影響影響により活動を休止し、そのまま解散する団体もあり、団体支援の重要性が増した。

前期	令和4年度		令和3年度	
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
・地域福祉活動助成	74	3,266,500	71	3,182,500
・障がい当事者団体助成	14	699,000	15	750,000
・団体立ち上げ助成(地域福祉活動助成と併願)	6	290,000	0	0
・夢ひろげ助成	0	0	0	0
合計	94	4,255,500	86	3,932,500

###### ② 地域ささえあい活動団体支援

地域活動推進員4人(内2人は神谷・東十条地域、桐ヶ丘地域アシスタントワーカーを兼務)が登録団体(地域ささえあい活動団体)への支援などを行った。

###### ア. 地域ささえあい活動団体の現況(登録団体一覧)

No.	団体名	活動エリア	活動内容
1	みんなで楽しくけん玉教室	王子	月1回第3日曜日の午後 けん玉教室を開催
2	子ども食堂「ののはな」	王子	子ども食堂・学習支援
3	東京北区ケンハモサークル	王子	鍵盤ハーモニカで様々な曲を演奏
4	ママカフェ ひろば	王子	産後のママ・妊婦相談受付、育児伝承、ヨガ、講座
5	混声合唱団 SAKURA	王子	月4回指導者の元で合唱練習、出張演奏、合唱祭等
6	土筆の会	王子	高齢者の親睦と健康の維持向上を図る為の健康体操
7	英語にふれよう	王子	親子で楽しく英語に親しむ
8	てとでの会	王子	コミュニケーションスキルを学ぶ月1回の勉強会
9	傾聴クラブ こあら	王子	傾聴を基本に地域の方々とのコミュニケーション
10	傾聴クラブ あすか	王子	傾聴
11	傾聴クラブ さんさん	王子	傾聴ボランティア活動・勉強会・定例会
12	点訳グループ六星会	王子	北視協・春光・都障害者スポーツセンター他の点訳
13	ボランティアグループ アミークス	王子	袋物・カード入れ毛糸小物等生活雑貨を作成
14	ボランティアグループ こだま	王子	楽しく手芸を作り販売しボランティアに役立てる
15	きらきら太極拳	王子	太極拳
16	傾聴クラブ「ハッピー」	王子	傾聴
17	カモミールの会	王子	アロマでコミュニケーション
18	飛鳥山太極拳愛好会	王子	毎朝ストレッチ体操・太極拳。地域活動に参加
19	傾聴クラブ ひびき	王子	傾聴
20	傾聴クラブ てんてん	王子	傾聴ボランティア
21	めんどりサロン 子ども食堂	王子	子ども食堂
22	NPO法人市民後見☆北ネット	王子	後見受任と出前講座やセミナー開催、相談活動等
23	上五のぞみ会	王子	食事会・配食
24	NPO法人でんでん子ども応援隊	王子	学習支援、生涯学習、子育て支援、子ども支援
25	NPO法人 子育てママ応援塾「ほっこり〜の」	王子	子育てママと「社会」をつなぐ、地域共助の拠点
26	ツインズタイム	王子	多胎家族の仲間づくり(お話し会、食事会、講演会他)
27	特定非営利活動法人 アドリブ	王子	北区の歴史・昔話に因んだ紙芝居を作成
28	北区介護予防リーダーの会	王子	あんしんセンター支援・「おたっしや21」等開催
29	点訳サークル六星会(福祉センタークラス)	王子	広報誌の点訳等

30	NPO法人 スマイリーサン	王子	障がい児者の為のサロン・プール・運動会・講習会
31	北区肢体不自由児者父母の会	王子	学習会、親睦会、施設見学、啓発活動等
32	当事者の会 はるじおん	王子	作品集「雑草魂」発行及び外出イベント、茶話会等
33	名主の滝さくら会	王子	筋トレ、ストレッチ、お口体操、コグニサイズ等
34	東京北卓球パレー同好会	王子	ユニバーサルスポーツ卓球パレーを楽しみながら交流
35	ファンキーモンキーズ	王子	ダンス好きなキッズによるダンスの交流
36	北区さわやかポニークラブ	王子	乗馬による身体的・知的障害の機能向上と回復
37	ダイヤモンド北	王子	いつも元気で明るく楽しく健康づくり
38	すまい・地域づくりの会	王子	地域で最期まで生活し続けられる地域すまいづくり
39	子育て教室	王子	医師歯科医・臨床心理士などによる連続講座の実施
40	北区で子どもの遊ぶ場をつくる会	王子	子どもの居場所・プレーパーク
41	紙芝居サークルきたきた座	王子	紙芝居の楽しさをお届け
42	北区えほんのさくら会	王子	絵本を通じて心豊かになることを願っての読み聞かせ
43	よみきかせの会たんぽぽ	王子	絵本の読み聞かせ・語り・わらべうたのおはなし会
44	不登校・ひきこもりの自主家族懇談会「赤羽会」	王子	不登校・ひきこもりの家族会「赤羽会」家族懇談会
45	NPO・ACT北区たすけあいワーカーズひよこ	王子	食事会・絵手紙講座・手芸の会
46	脳トレを楽しむ会	王子	脳トレ 認知症予防
47	親子サークル スキップ	王子	親子でバレエストレッチ
48	unfeuilleあんふいーゆ	王子	プリザーブド フラワーアレンジ
49	パーキンソン病友の会北区支部	王子	会報発行・月例会パーキンソン病に関する情報提供
50	めんどりサロン 絵手紙の会	王子	絵手紙講座(2回のうち1回は昼食の会)
51	街なかふくし・だんだん東十条	王子	カフェ、お楽しみ企画
52	サロン・サンサン	王子	親睦や元気づくり(お茶会・体操・ゲーム・歌など)
53	神谷・東十条健康プラザ	王子	サロン、居場所、カラオケ、読書会他
54	明るく唄う友の会	王子	毎週木曜日に東十条三丁目会館に集まり歌う
55	東十条サンハイツ将棋同好会	王子	月1回開催される将棋定例会を通しての多世代交流
56	サンハイツ 俳句会	王子	月1回の句会を実施、句集の発行
57	でこぼこキッズ 親の会 グラン・ブーケ	王子	発達しょうがい児とその家族の交流、講座、例会
58	ほのぼの会	王子	食事会・年に一度は外出・健康体操・健康チェック
59	豊島のうたごえひろば	王子	うたごえサロン
60	ロコクラブ	王子	子どもたちの宿題や自主学習の支援
61	遊悠クラブ	王子	健康寿命を延ばし元気で生活する為の体操等
62	王子五丁目団地俳句の会	王子	俳句を通じた高齢者の孤立予防を目的に活動
63	傾聴クラブ レインボー	赤羽	高齢者対象傾聴
64	りぷりんと北・あおいとり	赤羽	絵本読み聞かせ活動
65	ほっとカフェ	赤羽	地域の誰もが集えるたまり場の提供
66	アクアフレンズ	赤羽	水中ウォーキング・チェアーエクササイズ
67	りぷりんと北・すまいる北	赤羽	絵本読み聞かせ
68	ちいさなさかなの会	赤羽	布絵本作りをツールに、地域社会へ貢献
69	赤羽自主夜間中学「一歩ずつの会」	赤羽	学び直しや日本語習得の方に向け教場を開室
70	王子狐のミュージカルの会	赤羽	地域行事、合唱祭、狐の行列への参加
71	ミニデイホーム さくら	赤羽	食事会
72	桐ヶ丘ほほえみ会	赤羽	脳トレ 認知症予防
73	北園結の会蕎麦倶楽部	赤羽	そば打ちを通じての地域交流
74	赤羽ベーゴマクラブ	赤羽	ベーゴマ大会、ベーゴマ遊び等
75	KOKI会	赤羽	健康寿命を延ばし元気で生活する為の体操・脳トレ
76	桐ヶ丘交流サロン	赤羽	指遊び・クイズ・歌・体操と楽しいサロン
77	NPO法人 彩結び	赤羽	多世代交流カフェの運営、講座の開催
78	デフさくらの会	赤羽	高齢聴覚障がい者交流会
79	北区コミュニケーション・モア	赤羽	セミナー、親睦会、手話学習など
80	ステップ	赤羽	交流会・親子体操
81	エッセイ作文の会	赤羽	エッセイを書き、仲間づくり
82	笑いクラブ スマイル赤羽	赤羽	笑いの広場の提供とボランティア参加
83	ほほ笑いサロン	赤羽	体操・脳トレ・歌・カラオケ・レクリエーション

84	TENゴスペルクワイア	赤羽	年齢問わず子連れでも参加できるゴスペル活動
85	リズムと自然あそび ”ピッピ”	赤羽	親子交流会・体操・四季の工作・自然遊び
86	きたくコミュニティ・つむぐわ	赤羽	親子を中心とした多世代の学ぶ場、体験する場作り
87	赤羽自然観察公園ピオトープの会	赤羽	公園内の池でホタルが育つ環境作りと観察会の開催
88	鶴よ鶴よ	赤羽	体操・脳トレ・折り紙・盆踊・唄・ゲーム
89	西が丘桜クラブ	赤羽	介護予防体操ご近所 桜 握力強化 口、頭の体操
90	EQ(一休)スマイル	赤羽	笑いヨガ・脳活・認知症ケアゲーム・サルサ体操
91	城北囲碁クラブ	赤羽	囲碁対局、講師による囲碁講座・指導、囲碁旅行等
92	のらねこハウスよろず相談室	赤羽	福祉・生活・労働相談など、よろず相談
93	ユウユウ国際交流会	赤羽	英語・中国語に親しみながら他国の人と交流
94	北フォルクローレ実行委員会	赤羽	若者フォークダンス運動・青少年の健全育成
95	ララちゃんのおうち	赤羽	多世代交流、地域商店街活性化、子育て支援
96	赤羽太極拳	赤羽	呼吸・体感の調和と手足の方向角度を学び自由に交流
97	NPO法人 クレセール心の相談室	赤羽	障がい児童・生徒の居場所作り、社会適応能力訓練
98	よさこい赤羽桜舞	赤羽	よさこい踊りを楽しみ、イベント参加、施設訪問
99	中国茶 水仙の会	赤羽	中国茶の粋な淹れ方の学びをとおしての交流
100	北三友の会	赤羽	食事会
101	コミュニティーカフェ「ドリーム」	赤羽	茶話会・友達作り・その他地域活動
102	囲碁を楽しむ会	赤羽	囲碁の自由対局
103	北赤羽健康麻将同好会	赤羽	マナーを大切に1日楽しく愉快的健康麻将
104	神谷フレンズの会	赤羽	気軽なおしゃべり・筋トレ体操・手芸や折り紙他
105	神谷虹の会	赤羽	配食、食事会
106	草の根国際交流の会・コアラサークル	赤羽	イベントを行って外国籍親子の交流の場を作る
107	神谷堀公園ハイツふれあい会	赤羽	健康体操、落語、尺八、習字、カラオケ、折り紙等
108	神谷ストレッチクラブ	赤羽	ストレッチ体操、認知症予防体操、マット運動等
109	王子神谷健康クラブ	赤羽	茶話会健康マージャンを通して人との交流を楽しむ
110	四季の会	赤羽	介護予防の為に楽しく北区さくら体操、ご近所体操他
111	ボランティア「サクラ草」	赤羽	食事会、レクリエーション
112	TOY BOX	赤羽	子どもと一緒に楽しむイベント・講座の企画
113	浮しまカフェ	赤羽	認知症の方を地域で支える『ほっと一息カフェ』
114	浮間UHクラブ	赤羽	週1回 らくらく体操、おしゃべり会
115	喫茶室「虹」	赤羽	お気軽にどなたでも立寄れるカフェの実施
116	ほっとカフェ ひまわり	赤羽	喫茶・血圧・体脂肪測定他に体操教室の開催・手芸
117	カスミソー 自由登校を見守る会	赤羽	学校に行きづらい子どもと親の交流等
118	コミークラブ	滝野川	交流会(茶話会、レクリエーション)
119	さかえ・で・サロン	滝野川	高齢者を対象としたレクリエーション
120	ねこの手	滝野川	木のおもちゃサロン、音楽を楽しむ会やお話会など
121	はあとほっとゼミ	滝野川	オンライン ママゼミとおしゃべりカフェ
122	べっら・べる	滝野川	ハンドベル演奏
123	りゅうのすけくん茶論	滝野川	サロン縁じよい田端駅商店街(谷田橋サロン)運営
124	りぷりんと北・北話会	滝野川	絵本の読み聞かせを通じての社会参加、世代間交流
125	筋力アップ友の会	滝野川	ストレッチ、脳トレ等でコミュニケーションを図る
126	健康カーレットクラブ田端	滝野川	カーレット競技
127	快眠ヨガの会	滝野川	簡単なヨガを通じての健康と生きがいづくり
128	すこやか長寿体操倶楽部	滝野川	筋力アップバランス歩行能力運動習慣を身につける
129	M・G研究会	滝野川	手品で地域住民とのコミュニケーションを図る
130	ソリテマンドリンクラブ	滝野川	依頼によるボランティア演奏
131	ぱ・ど・あーるダンスクラブ	滝野川	社交ダンスの練習会
132	シャベレーズ	滝野川	おはなし会等を通じ、乳幼児親子の支援
133	NPO法人 勉強レストランそうなんだ！！	滝野川	「放課後デイサービス勉強レストランそうなんだ」を開所
134	やよいクラブ	滝野川	さくら体操、マシン体操、お口体操の他、お茶会
135	一般社団法人「COCOROごはん」	滝野川	滝野川地域での子育て支援・子どもの居場所づくり
136	飛鳥会家族会	滝野川	困る事を話し合い・支え合い社会資源の上手な活用
137	こころとからだの元気Lab.	全域	アロマセラピー、ハンドタッチング、ボランティア

138	ボランティア ひまわりクラブ	全域	訪問美容など
139	ツイズエイド	全域	多胎児の家族への支援活動
140	北区おはなしの会	全域	おはなし会・講座等
141	NPO法人 銀の鈴交流ネット	全域	ふれあい訪問活動
142	井戸端げんきのわ	全域	高齢・障がい者・関係者向け出張講座
143	親子支援グループそらいろの種	全域	保育支援・出張一時保育・チャリティーコンサート
144	認定NPO法人 ことばの道案内	全域	最寄りの駅等から目的の施設までをことばで道案内
145	おもひでチューズデー	全域	昭和歌謡の演奏を通してお年寄りを元氣する活動
146	日本歌謡斉唱会	全域	施設・団体への訪問 おたのしみ歌謡 元氣づくり
147	王子がん哲学外来	全域	がん患者に寄り添い分かち合うメディカルカフェ
148	おもひでロマンチカ	全域	高齢者対象のイベントやサークルでの演奏と講演
149	一般社団法人 いのちを守るatプロジェクト JAPAN	全域	防災に関するイベント、セミナー、ワークショップ
150	へいへいと遊ぼう！ in北区	全域	声優による絵本読み聞かせ & 言語聴覚士の発達相談
151	NPO法人 ねこのみみ	全域	飼い主のいない猫を減らす為の地域猫活動
152	パステルこっとな	全域	パステル画の出前講座等
153	きたく健やかWKの会	全域	ウォーキングを主体に筋トレ及び脳トレを行う
154	絵本読み聞かせの会カスターネット	全域	絵本読み聞かせ

※活動エリア詳細

王子地区 : 十条仲原、中十条、十条台、上十条、東十条、王子、豊島、岸町、王子本町、豊島、堀船

赤羽地区 : 志茂、神谷、岩淵町、赤羽南、赤羽、赤羽西、西が丘、赤羽北、赤羽台、桐ヶ丘、浮間

滝野川地区: 滝野川、栄町、上中里、西ヶ原、昭和町、田端新町、東田端、田端、中里

イ. 地域ささえあい活動交流会、支援講座等

No.	事業名	開催日	参加人数	内容
1	あ！それいいねがみつかる展示会	6/11	94	地域での仲間づくりや孤立予防を目的としたネットワークづくりのイベント
2	ささえあい交流会	2/19	41	お互いをほめあってモチベーションを上げることを目的としたグループワークによる交流

ウ. ネットワーク作りを目的として行事等への参加

No.	行事名	開催日
1	オータムフェスティバル	11/19

### ③おちゃのこ祭祭2022

#### ア. 活動内容

「話がある 和になる 輪ができる」をテーマに団体・個人が参加し、より豊かな地域のネットワークづくりを目指して開催している。おちゃのこ祭祭2022では、Withコロナのおちゃのこ祭祭を検討する中で小規模、小地域、少人数を目標に、王子、赤羽、滝野川の3地域に分かれて開催し、各地域ごとに  
出展団体やテーマも違うお祭りを11月3日（木・祝）滝野川3丁目公園、11月13日（日）午後1時～4時半  
東京シューレ、11月27日（日）午前10時～午後3時 URニューヴェル赤羽台で開催した。

【滝野川】11月3日（木・祝）正午～午後3時@滝野川3丁目公園 共催：滝野川中央自治会

テーマ：集まれ！みんなで育む芝生公園 来場者数：約400名

参加団体・人数：10団体+北区社会福祉協議会（参加団体110名+北区社会福祉協議会17名）

【王子】11月13日（日）午後1時～4時半@東京シューレ

テーマ：みんなで楽しもう♪秋の収穫祭 来場者数：48名

参加団体・人数：15団体+北区社会福祉協議会（参加団体68名+北区社会福祉協議会9名）

【赤羽】11月27日（日）午前10時～午後3時 @URニューヴェル赤羽台

テーマ：ひろげよう！つなげよう！マスクからあふれる笑顔の輪 来場者数：約300名

参加団体・人数：17団体+北区社会福祉協議会（参加団体132名+北区社会福祉協議会10名）

### ④ボランティア保険の取り扱い

区 分	令和4年度		令和3年度	
	取扱い件数(件)	取扱い人数(人)	取扱い件数(件)	取扱い人数(人)
ボランティア保険	254	4,243	220	4,501
行事保険	54	2,169	43	2,063
行事保険（当日参加対応型）	42	1,097	29	726

\* NPO法人東京都北区市民活動推進機構に受付業務委託

## 5. 助成事業サービス区分関連事業

(事務事業費 4,517千円：うち助成金支出4,406千円)

### (1) 地域ささえあい活動団体助成事業 (4,307千円)

歳末たすけあい募金の地域福祉配分金（前年度の歳末たすけあい・地域福祉募金）を財源に、以下の①～④の助成を行う。

#### ① 〈区分I〉地域ささえあい活動団体助成

- (ア) 助成対象
- ・ 法人格を持たない非営利活動団体又は特定非営利活動法人
  - ・ 北区内に所在し、北区を拠点に活動している団体
  - ・ 北区内において、広く公開されている活動を行っている
  - ・ 自主財源の確保が可能
  - ・ 北区内での年間の活動回数が10回（後期は5回）以上である
  - ・ 5名以上の会員で、事業を定めた会則を制定している団体
  - ・ 北社協団体会員

※上記すべての項目に該当すること

(イ) 助成項目 A、会場費 B、講師料 C、広報費 D、物品購入費

(ウ) 助成限度額 前期：助成項目A～D合わせて上限5万円  
後期： " 上限3万円

(エ) 令和4年度助成団体

前期助成団体

No.	団 体 名	主な対象者	助成額
1	ボランティアひまわりクラブ	高齢者・障がい者	50,000
2	傾聴クラブこあら	だれでも	50,000
3	傾聴クラブさんさん	高齢者	50,000
4	サークルタイム	保護者・子ども	50,000
5	すまい・地域づくりの会	だれでも	21,000
6	シャペレーズ	保護者・子ども	20,000
7	親子サークル スキップ	母または親子	50,000
8	拳・剣・扇 赤羽太極拳	だれでも	50,000
9	ねこの手	だれでも	50,000
10	りゅうのすけくん茶論	だれでも	40,000
11	きらきら太極拳	だれでも	50,000
12	傾聴クラブ「ハッピー」	高齢者	50,000
13	さかえ・で・サロン	高齢者	40,000
14	TENゴスペルクワイア	だれでも	50,000
15	特定非営利活動法人 彩結び	だれでも	50,000
16	不登校・ひきこもりの自主家族懇談会「赤羽会」	不登校・引きこもりの当事者とその家族	50,000
17	飛鳥山太極拳愛好会	だれでも	50,000
18	北区えほんのさくら会	だれでも	50,000
19	神谷ストレッチクラブ	だれでも	50,000
20	きたくコミュニティ・つむぐわ	だれでも	50,000
21	北区で子どもの遊ぶ場をつくる会	だれでも	50,000
22	北区介護予防リーダーの会	高齢者	50,000
23	りぷりんと北・北話会	だれでも	50,000
24	赤羽ベーゴマクラブ	だれでも	50,000
25	傾聴クラブてんてん	だれでも	15,000
26	めんどりサロン絵手紙の会	だれでも	50,000
27	鶴よ鶴よ	高齢者	20,000
28	りぷりんと北・すまいる北	だれでも	50,000
29	街なかふくし・だんだん東十条	だれでも	30,000
30	エッセイ作文の会	だれでも	50,000



31	こころとからだの元気Lab.	だれでも	50,000	
32	城北囲碁クラブ	だれでも	50,000	
33	神谷・東十条健康プラザ	だれでも	50,000	
34	めんどりサロン 子ども食堂	保護者・子ども	35,000	
35	EQ(一休)スマイル	だれでも	50,000	
36	名主の滝さくら会	高齢者	30,000	
37	ツインズタイム	多胎児とその家族等子ども	40,000	
38	サロン・サンサン	だれでも	50,000	
39	NPO法人アドリブ	だれでも	50,000	
40	ファンキーモンキーズ	子ども	50,000	
41	ぱ・ど・あーるダンスクラブ	だれでも	50,000	
42	王子神谷健康クラブ	だれでも	50,000	
43	中国茶を楽しむ水仙の会	だれでも	50,000	
44	東京北区ケンハモサークル	だれでも	50,000	
45	よさこい赤羽桜舞	だれでも	50,000	
46	北区コミュニケーション・モア	高齢者・障がい者	50,000	
47	りぷりんと北・あおいとり	高齢者・子ども	49,000	
48	ロコクラブ	子ども	50,000	
49	喫茶室「虹」	だれでも	50,000	
50	特定非営利活動法人ねこのみみ	だれでも	50,000	
51	東十条サンハイツ将棋同好会	だれでも	50,000	
52	ママカフェひろば	子ども(1歳まで)・母親・妊婦	50,000	
53	ステップ	保護者・子ども	41,000	
54	リズムと自然遊び‘ピッピ’	子ども	50,000	
55	四季の会	高齢者	50,000	
56	赤羽自主夜間中学「一歩ずつの会」	だれでも	50,000	
57	M・G研究会	高齢者	50,000	
58	おもひでチューズデー	高齢者	50,000	
59	コミークラブ	高齢者	50,000	
60	混声合唱団SAKURA	だれでも	50,000	
61	笑いクラブスマイル赤羽	高齢者・障がい者・子ども	30,000	
62	神谷掘ハイツふれあい会	高齢者	50,000	
63	はあとほっとゼミ	子ども	50,000	
64	みんなで楽しくけん玉教室	だれでも	15,000	
65	神谷フレンズの会	だれでも	30,000	
66	土筆の会	高齢者	50,000	
67	のらねこハウスよろず相談室	だれでも	50,000	
68	ユウユウ国際交流会	だれでも	50,000	
			合計金額(円)	3,106,000
			件数(件)	68

後期助成団体

No.	団体名	主な対象者	助成額	
1	カスミソウ-自由登校を見守る会-	だれでも	10,500	
2	遊悠クラブ	だれでも	30,000	
3	王子五丁目団地俳句の会	だれでも	30,000	
4	快眠ヨガの会	高齢者	30,000	
5	英語にふれよう	だれでも	30,000	
6	子育て教室	高齢者・子ども	30,000	
			合計金額(円)	160,500
			件数(件)	6

令和4年度(前・後期合計)	3,266,500円	74件
令和3年度(前・後期合計)	3,182,500円	71件

② 〈区分II〉障がい当事者団体助成

- (ア) 助成対象
- ・ 法人格を持たない非営利活動団体又は特定非営利活動法人
  - ・ 北区内に所在し、北区を拠点に活動している団体
  - ・ 北区内において、広く公開されている活動を行っている
  - ・ 身体、知的、精神の障がい等の当事者（北区在住）10名以上が会員で、かつ会則を制定している団体
  - ・ 本会の団体会員になっている団体
- ※上記すべての項目に該当すること

(イ) 助成項目 年中行事を含む事業費

(ウ) 助成限度額 上限5万円

(エ) 令和4年度助成団体

前期助成団体

No.	団体名	主な対象者	助成額
1	北区肢体不自由児者父母の会	障がい者・保護者	50,000
2	北区視覚障害者福祉協会	障がい者	50,000
3	北区聴覚障害者協会	障がい者	50,000
4	北区失語症友の会	障がい者	50,000
5	パーキンソン病友の会 北区支部	高齢者・障がい者	50,000
6	ソフトラクロス インドア同好会	障がい者	50,000
7	ゆりかもめの会	障がい者	50,000
8	NPO法人 重度心身障がい児・者親子の会 スマイリーサン	だれでも	50,000
9	デフさくらの会	高齢者・障がい者	49,000
10	当事者の会「はるじおん」	障がい者	50,000
11	でこぼこキッズ親の会 グラン・ブーケ	障がい者	50,000
12	東京北卓球バレー同好会	だれでも	50,000
13	北区さわやかポニークラブ	障がい者	50,000
14	ふうせんクラブ	障がい者	50,000
合計金額（円）			699,000
件数（件）			14

後期助成団体

No.	団体名	主な対象者	助成額
	申請なし		
合計金額（円）			0
件数（件）			0

令和4年度（前・後期合計）	699,000円	14件
令和3年度（前・後期合計）	702,500円	15件

③ 〈区分III〉 団体立上げ助成

(ア) 助成対象 ・ 区分Ⅰ「地域ささえあい活動団体」または区分Ⅱ「障がい当事者団体」の条件に該当する団体。ただし過去に歳末たすけあい・地域福祉募金助成において助成金をうけている団体は対象外とする。

(イ) 助成項目 A、広報費  
B、物品購入費

(ウ) 助成限度額 助成項目A～B合わせて上限5万円

(エ) 令和4年度助成団体

前期助成団体

No.	団体名	他助成併願	助成額
1	神谷フレンズの会	I 地域ささえあい活動助成	50,000
2	土筆の会	I 地域ささえあい活動助成	40,000
3	のらねこハウスよろず相談室	I 地域ささえあい活動助成	50,000
4	ユウユウ国際交流会	I 地域ささえあい活動助成	50,000
合計金額 (円)			190,000
件数 (件)			4

後期助成団体

No.	団体名	他助成併願	助成額
1	カスミンウ-自由登校を見守る会-	I 地域ささえあい活動助成	50,000
2	遊悠クラブ	I 地域ささえあい活動助成	50,000
合計金額 (円)			100,000
件数 (件)			2

令和4年度 (前・後期合計)	290,000円	6件
令和3年度 (前・後期合計)	0円	0件

④ 〈区分IV〉 夢ひろげ助成

(ア) 助成対象 ・ 法人格を持たない非営利活動団体又は特定非営利活動法人  
・ 北区内に所在し、北区を拠点に活動している団体  
・ 北区内において、参加者・スタッフとともにメンバーを固定せずに、オープンな活動を行っている団体  
・ 5名以上の会員で、事業を定めた会則を制定している団体  
・ 本会の会員になっている団体  
※上記すべての項目に該当すること

(イ) 助成対象事業 ・ 先駆的、実験的事業や他のモデルとなるような企画で、その事業に対する準備費、開発費、実践経費  
・ 地域福祉に関する調査、研究活動に対する経費、情報収集した事例集の発行経費

(ウ) 助成限度額 上限5万円

(エ) 令和4年度助成団体

No.	団体名	助成額
1	申請なし	
合計金額 (円)		0
件数 (件)		0

審査

東京都共同募金会北地区配分推せん委員会にて行う

開催日	出席者数 (人)	付議内容
6/17	13	・ 令和3年度助成団体実績報告 ・ 令和4年度前期助成金交付審査
10/18	11	・ 令和4年度後期助成金交付審査

令和5年度助成事業説明・相談会

開催日	会場	内容	参加団体数
2/28	岸町ふれあい館	令和5年度助成事業説明	11
3/6	岸町ふれあい館	令和5年度助成事業説明	7

(2) 子ども・若者応援基金助成事業 (210千円)

(P. 17のデータを一部再掲)

項目	件数	区分	金額 (円)
原資寄付	15	収入	632,000
事業寄付	18	収入	1,293,457
広報費		支出	3,000
夢絵師プロジェクト	1	支出	150,000
プログラミングチャレンジ助成 (12名)	1	支出	56,597

## 6. 地域福祉権利擁護事業サービス区分関連事業

(事務事業費1,079千円、人件費10,178千円)

### (1) 地域福祉権利擁護事業 (11,257千円)

#### 【事業内容】

高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方が、自立した地域生活を送れるよう、福祉サービスを適切に利用する権利を擁護することを目的として、下記の援助を実施する。

#### ① 福祉サービスの利用援助

- ア. 福祉サービスについての情報提供、助言
- イ. 福祉サービスを利用し、又は利用をやめるために必要な手続き
- ウ. 福祉サービスの利用料を支払う手続き
- エ. 福祉サービスについての苦情解決制度を利用する手続き
- オ. 日常生活支援サービス（福祉サービスの適切な利用のため必要な一連の援助）

#### ② 日常的金銭管理サービス

- ア. 年金及び福祉手当の受領に必要な手続き
- イ. 税金、社会保険料、公共料金、医療費、家賃等の支払い手続き
- ウ. 日常生活に必要な預貯金の払い戻し、預け入れ、解約の手続き

#### ③ 書類等の預かりサービス

金融機関の貸金庫にて、年金証書、預貯金通帳、権利証、契約書類等を保管

#### 【実績】

#### ④ 相談援助実績 (件)

項目	認知症 高齢者等	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	合計	昨年度 実績
ア. 初回相談・問い合わせ件数	454	27	61	71	613	506
イ. 相談援助件数	2,596	119	384	154	3,253	6,898
合計	3,050	146	445	225	3,866	7,404

(注) ア・・・制度の一般的な問い合わせ、具体的な事例を伴った初回の相談  
イ・・・2回目以降の相談援助及び既契約者への相談援助

#### ⑤ 契約実績 (件)

項目	認知症 高齢者等	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	合計
ア. 令和4年度当初契約件数	30	10	8	7	55
イ. 新規契約件数	9	1	0	0	10
ウ. 解約件数	12	1	1	3	17
年度末契約件数(ア+イ-ウ)	27	10	7	4	48

#### 参考 (過去5年間の契約件数推移) (人)

年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	H30年度	H29年度
年度当初利用者数	46	39	42	40	36
契約者数	16	16	8	9	13
解約者数	7	9	11	7	9
年度末利用者数	55	46	39	42	40

⑥ 生活支援員

ア. 生活支援員数

ボランティア活動経験者等の一般区民から生活支援員を採用し、利用者支援を実施。

(人)

令和4年度当初数	21
新規契約者	0
年度末退職者	3

イ. 生活支援員研修会等の実施、参加

(人)

No.	研修名	日程	内容	参加者数
1	北社協生活支援員事務連絡会	4/27	活動上の留意点等説明、事故報告、新型コロナウイルス感染症対策について	13
2	城北ブロック生活支援員研修会	1/20	新型コロナウイルス感染症の影響による活動を振り返る	6
3	東京都社会福祉協議会主催生活支援員現任研修	動画配信	精神障害のある方への支援と権利擁護	9
4	北社協生活支援員研修会	12/2	認知症サポーター養成講座	7
5	北社協生活支援員交流会	3/20	1年間の振り返り、変化、苦勞したことなどの共有	9

## 7. 権利擁護センター事業サービス区分関連事業

(事務事業費9,447千円、人件費37,374千円)

### (1) 権利擁護センター「あんしん北」事業 (17,195千円)

福祉サービス利用、成年後見制度の利用、権利擁護に関わる相談及び福祉サービス利用に際しての苦情に総合的に対応する。

#### ① 総合相談事業

- ア. 一般相談 高齢者や障がい者の権利擁護に関わる一般的な相談
- イ. 専門相談 一般相談のうち、法律的な対応が必要な場合等、法律・福祉・生活に関する一体的な専門相談（毎月第1、3水曜日午後、予約制で実施）
- ウ. 苦情相談 福祉サービス利用に関する苦情相談

#### 【実績】

##### ア. 一般相談（職員対応総数）

項目	件数（件）
相談・問い合わせ	617
継続相談	6,552
合計	7,169

##### 参考（過去5年間の一般相談実績推移）

(件)

	R3年度	R2年度	R1年度	H30年度	H29年度
相談・問い合わせ	508	495	494	360	357
継続相談 (注1)	6,915	4,462	3,899	4,152	3,282
合計	7,423	4,957	4,393	4,512	3,639

(注1) R3年度は、個人で相談100回以上のケースが複数あったため、多くなっている

##### イ. 専門相談（弁護士等対応総数）

実施件数（件）	15
実施時間（分）	900

##### 参考（過去5年間の専門相談実績推移）

(件)

年度	R3年度	R2年度	R1年度	H30年度	H29年度
件数	25	19	30	11	17

##### ウ. 相談援助総数 (件)

実施件数 (ア+イ)	7,184
---------------	-------

##### 参考（過去5年間の相談実績推移）

(件)

年度	R3年度	R2年度	R1年度	H30年度	H29年度
件数	7,448	4,976	4,423	4,523	3,656

##### エ. 初回相談の経路別相談件数

(件)

区分	本人	親	子	配偶者	兄弟姉妹	親類	隣人・知人	ホームヘルパー	民生・児童委員	介護支援専門員	福祉施設	地域包括支援センター	医療機関	福祉事務所	行政（左記以外）	その他	合計
高齢者	62	0	108	24	25	40	13	0	0	45	6	75	22	5	8	21	454
知的障がい者	4	6	1	1	1	0	0	0	0	0	6	0	5	0	2	1	27
精神障がい者	18	7	2	0	3	4	0	0	0	1	7	2	8	2	1	6	61
その他	18	7	4	3	6	2	0	0	0	2	2	4	3	0	3	21	75
合計	102	20	115	28	35	46	13	0	0	48	21	81	38	7	14	49	617

オ. 初回相談内容の状況（複数回答）

(件)

区 分	福祉サービスの手続き	日常的金銭管理	書類等の預かり	保健サービスの手続き	医療に関する手続き	福祉サービスの苦情	今後の生活設計	本事業に関する問合せ	成年後見（任意後見）に関する問合せ	成年後見（法定後見）に関する問合せ	財産保全	消費契約	相続	財産侵害	虐待	遺言に関する問合せ	専門相談	その他	合計
高齢者	48	71	2	0	0	5	22	25	79	253	3	3	19	8	6	15	14	56	629
知的障がい者	7	7	0	0	0	1	1	5	1	14	0	0	2	0	0	0	0	0	38
精神障がい者	8	12	1	1	0	6	2	2	8	32	0	0	3	0	1	0	1	7	84
その他	7	8	0	0	2	4	3	8	11	30	0	0	7	0	1	0	1	19	101
合計	70	98	3	1	2	16	28	40	99	329	3	3	31	8	8	15	16	82	852

② 成年後見制度利用支援事業

【事業内容】

成年後見制度の利用が必要とされている高齢者、知的障がい者、精神障がい者などに対して、下記の援助を実施する。

- ・一般相談による成年後見制度についての説明・相談
- ・弁護士による専門相談
- ・弁護士会、司法書士会、社会福祉士会等の関係団体の紹介
- ・講演会及び説明会等の実施
- ・利用者の成年後見制度利用に関する援助

【実績】

ア. 成年後見制度に関する相談の実績（延べ件数）

(件)

項 目	内 訳				合計	昨年度実績
	電話	来所	訪問	その他		
一般相談による説明・相談	1,753	153	195	174	2,275	2,162
弁護士による専門相談	0	4	1	1	6	4
合 計	1,753	157	196	175	2,281	2,166

イ. 相談援助実績（成年後見一般相談延べ件数）

(件)

項 目		認知症高齢者等	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計	昨年度実績
初回相談	法定後見	252	14	32	30	328	261
	任意後見	42	0	1	3	46	30
相談援助件数		1,667	57	286	115	2,125	1,881
合 計		1,961	71	319	148	2,499	2,172

\* 初回相談の法定後見と任意後見の内訳は複数回答による集計のため重複あり



ウ. 講演会の実施

(人)

No.	講座名	対象	内容	開催日	参加者数
1	成年後見制度のABC	区民一般	成年後見制度の概要	6/30	20
2	古い支度①「エンディングノートの書き方講座～終活のはじめの一步～」	区民一般	エンディングノートの書き方のポイント、活用方法	10/21	70
3	古い支度②「知っておきたい葬儀・供養のはなし」	区民一般	葬儀屋供養の考え方や実際		
4	古い支度③「任意後見制度で将来に備えよう」	区民一般	任意後見制度のあらまし、契約方法、任意後見人の業務	10/27	61
5	古い支度④「いまさら聞けない老人ホームの基礎知識」	区民一般	老人ホームの基礎知識		
6	古い支度⑤「認知症に伴う法的問題（法定後見制度）」	区民一般	成年後見制度の概要、老後の資金管理	11/21	55
7	古い支度⑥「遺言」のイロハ～書き方から手続きまで～	区民一般	遺言の講習と実際に書いてみるにはどうするか		
8	古い支度⑦「安心して旅立つために決めておきたい死後のこと」	区民一般	死後事務や残存家具の片づけ、納骨、相続などを学ぶ	11/24	51
9	古い支度⑧「ペットの行方～今私がいなくなったら」	区民一般	飼い主の入院、入所、死後のペットの行方や課題を学ぶ		
10	福祉従事者向け成年後見制度説明会（基礎編）	区内福祉従事者	成年後見制度の概要、申立方法、後見人の業務など	動画配信	16
11	福祉従事者向け成年後見制度説明会（応用編）	区内福祉従事者	後見人等の活動、実務、福祉職と後見人の連携	動画配信	18

エ. 職員による出張説明等の実施

権利擁護センターの事業等を区民や関係機関の方々に周知し、利用者の掘り起こしを行うため職員が施設等に出向き説明等を実施。

(人)

No.	集会名	対象	内容	開催日	参加数
1	飛鳥会家族会	地域住民	成年後見制度	7/23	15
2	新町光陽苑家族会	地域住民	成年後見制度	9/3	24
3	ヌーベル赤羽台出前講座	地域住民	古い支度講座	10/28	20
4	UR神谷堀ハイツ出前講座	地域住民	古い支度講座	3/11	20

③ 苦情対応機関の設置

【事業内容】

福祉サービス利用に関する苦情に対する相談対応、苦情解決の実施

ア. 苦情相談受付

A. 対象別件数

(件)

項目	内訳				合計	昨年度実績	
	高齢	知的	精神	その他			
a. 初回相談・問い合わせ件数	5	1	8	7	21	19	
内訳	相談のみ件数	5	1	8	6	20	17
	苦情調整委員対応申立件数	0	0	0	1	1	2
b. 相談援助件数	16	1	33	20	70	127	
合計	21	2	41	27	91	146	
相談援助時間(分)	370	90	1,039	360	1,859	2,820	

B. 苦情内容別件数(複数回答)

(件)

苦情内容別件数	内訳				合計	
	高齢	知的	精神	その他		
福祉サービスに関する苦情	サービス内容	3	1	2	2	8
	職員の対応・態度	1	0	8	4	13
	責任者・法人の対応	2	0	3	4	9
	具体的な被害	1	0	2	1	4
	虐待・拘束	0	0	1	2	3
	事業運営全般(寄付強要等)	0	0	0	0	0
	契約不履行・説明不足等	0	0	3	1	4
	利用料負担	0	0	1	0	1
	事業所から利用者に対する苦情	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	権利侵害	相続問題	0	0	0	0
財産侵害		0	0	0	0	0
金銭・財産管理		0	0	0	0	0
金銭トラブル(消費、契約問題)		0	0	0	0	0
その他		0	0	1	3	4

C. 対応意向別件数（複数回答）

（件）

苦情内容別件数	件数				合計
	高齢	知的	精神	その他	
話を聞いてほしい	1	1	4	3	9
教えてほしい	2	0	2	1	5
調査してほしい	1	0	1	1	3
改善してほしい	2	0	2	2	6
仲裁してほしい	0	0	1	0	1
謝罪してほしい	0	0	0	0	0
弁償してほしい	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	1	1

イ. 区内事業所向け苦情研修会の実施

区内福祉事業所・施設に対し、現場レベルでの苦情解決のための仕組みや体制づくりのための研修を行った。

（人）

講座名	対象	内容	開催日	参加者数
福祉施設等苦情対応研修①	苦情受付担当者	苦情対応の基礎	8/19	6
		同上	動画配信	5
福祉施設等苦情対応研修②	苦情解決責任者	事業所の責任等	動画配信	4

## (2) 成年後見活用あんしん生活創造事業

(16,085千円)

### 【事業内容】

成年後見人などに対する後見人等業務の支援などのため、下記の事業を実施する。

#### ① 後見人等のサポート

ア. 弁護士等による専門相談

イ. 後見人等研修会の開催

ウ. 後見人等連絡会の開催

#### ② 地域ネットワークの活用

後見人等の業務や被後見人の生活を地域で支えるための地域ネットワークとして、関係機関等との情報交換や共同事業に取り組む。

#### ③ 成年後見制度推進運営委員会の設置

本会の行う成年後見制度に関する事業の実施にあたり、事業運営方針等についての助言・指導等を行い、事業の適切な運営を確保する。

#### ④ 社会貢献型後見人の養成

東京都が行う社会貢献型後見人養成事業による講習修了者に対し、研修、実習、講演会、情報提供などにより、社会貢献型後見人の養成を行う。

#### ⑤ 法人後見監督業務の取り組み

東京都が行った社会貢献型後見人養成事業による講習修了者を後見人、当会が監督監督人としてモデル受任し、社会貢献型後見人に対する後見監督業務を行う。受任初年度は3カ月に1回ごと、2年目以降は半年に1回ごとに書面と面接によって報告を受け、監督業務を遂行する。

### 【実績】

#### ① 後見人等のサポート

ア. 弁護士等による専門相談の実績 (件)

項 目	件 数
法律家による専門相談	6

イ. 後見人等研修会の実施

(人)

講座名	対象	内容	開催日	参加者数
第1回親族後見人等勉強会	法定後見申し立てを検討中で、親族後見人を検討している方	申し立て書類の書き方	10/3	12
第2回親族後見人等勉強会	親族後見人、または受任を検討している親族	後見事務の方法と報告書の書き方	2/1	13

ウ. 後見人等連絡会（旧三士会との意見交換会）

これまで、三士会として任意で行っていた専門職との意見交換を今年度より、後見人等連絡会として継続して実施することとなった。

日程	内容
6/10	成年後見制度利用促進検討会議、後見人等連絡会の実施、後見人等モニタリングについて報告
2/10	後見人等候補者名簿の作成や成年後見制度利用促進検討会議の進め方について

※三士会：社会福祉士（ぱあとなあ東京）、司法書士（リーガルサポート）、弁護士（東京弁護士会、第一東京弁護士会、第二東京弁護士会）

②地域ネットワークの活用

ア. 成年後見関係機関連絡会の開催

成年後見制度推進に関わる関係機関による連絡会を開催。

第1回：令和4年10月7日 午後2時～4時 オンライン開催

内容：認定社会福祉士星野美子氏より、第二期成年後見制度利用促進基本計画の講演とグループディスカッション

テーマ：多問題家族の支援から考える権利擁護支援

第2回：令和5年3月8日 午前10時～12時 オンライン開催

内容：王子公証役場公証人横田氏より、任意後見制度の概要と手続き方法について講演、任意後見事例発表、グループディスカッション

テーマ：本人の権利擁護のために、今から備える任意後見制度について考える

出席団体（計42団体のべ110人）
東京弁護士会、第一東京弁護士会、第二東京弁護士会、東京パブリック法律事務所、リーガルサポート東京支部北荒川地区、ぱあとなあ東京、北区社会福祉士会、王子公証役場、東京税理士会王子支部、東京都行政書士会北支部、東京都社会保険労務士会北支部、市民後見☆北ネット、北区内居宅介護支援事業所、病院、障害者支援事業所、北区民生委員・児童委員協議会、北区高齢者あんしんセンター（15カ所）東京都北区、北区社会福祉協議会、北区社会福祉協議会成年後見推進運営委員会

イ. 地域ネットワーク関係機関との会合等

No.	会議名	内 容	開催日
1	城北ブロック権利擁護センター長会議	センター運営に関する意見交換	4/15
2	城北ブロック権利擁護センター連絡会	センター事業に関する意見交換	①6/2 ②12/22 ③3/7
		令和4年度地域福祉権利擁護事業 城北ブロック社協 ブロックにおけるケース検討	12/14
3	北区高齢者あんしんセンター連絡会	令和4年度新規事業に関する説明	5/19
4	北区高齢者あんしんセンター社会福祉士連絡会	令和4年度新規事業に関する説明・報告	①9/15 ②1/19
5	北区社会福祉士会シンポジウム（共催）	北区における成年後見制度について	11/25

③ 成年後見制度推進運営委員会（協議会）の設置

ア. 成年後見制度推進運営委員会（協議会）の開催

会 議	内 容	開催日
第1回	令和3年度事業報告と令和4年度事業計画、社会貢献型後見人モデルケースの報告、中核機関に関する報告。	6/24
第2回	第9期成年後見制度推進運営委員会委員委嘱および各委員紹介、正副委員長選出、権利擁護センターあんしん北の事業に関する報告。	12/6
第3回	成年後見制度の実際について（補助、保佐、後見事例紹介）、北区における成年後見制度利用促進事業について報告。	2/21
第4回	北区版後見人等候補者名簿の作成について、成年後見制度利用促進検討会議における社会貢献型後見人受任ケースの検討、令和4年度あんしん北の事業報告	3/24

④ 社会貢献型後見人の養成、受任の準備と取組み

東京都が行う社会貢献型後見人養成事業にともなう養成、研修の実施。

令和4年度登録者数：計5人

ア. 登録者面接

令和4年度は新規登録者なし。

イ. 養成研修

区による養成事業については検討中のため新規養成を行わず。

ウ. 登録者研修・連絡会等の開催

日程	内容
12/5	社会貢献型後見人登録メンバー研修・交流会

⑤ 法人後見監督業務の取組み

ア. 後見監督業務の実施

モデルケース1・4の社会貢献型後見人に対する後見監督業務を行った。受任初年度は3カ月に1回ごと、2年目以降は半年に1回ごとに書面と面接によって報告を受け、監督業務を遂行した。

モデルケース1（継続）

日程	内容
4/19	後見活動に関する監督の実施
4/28	家裁への監督事務報告書の提出
10/27	後見活動に関する監督の実施

モデルケース2（令和元年中に終了）

モデルケース3（令和2年度中に終了）

モデルケース4

日程	内容
5/31	後見活動に関する監督の実施
6/13	家裁への監督事務報告書の提出
12/9	後見活動に関する監督の実施

(3) 成年後見活用あんしん生活創造事業（北区から受託） （13,541千円）

①成年後見制度利用促進の取り組み

成年後見制度利用促進検討会議を実施し、制度を利用する本人が抱える課題や支援方針の検討、後見人等候補者となる専門職のマッチングを行った。福祉従事者向けに実施している困難ケース専門相談では、事業開始当初よりも相談件数が増加している。また、被後見人および後見人等への支援として、定期モニタリング会議を実施した。

(ア)成年後見制度利用促進検討会議の実施

ケース：延べ50件

後見人候補者職種：弁護士16件、司法書士15件、社会福祉士19件

本人の居住地：在宅21件、施設入所12件、病院17件

回	開催日	番号	居所	類型（見立て含む）	結果
1	4/12	1	病院	後見	社会福祉士
2	4/26	2	病院	後見	弁護士
3	5/10	3	施設	後見	社会福祉士
		4	施設	未定	司法書士
		5	在宅	後見	社会福祉士
4	5/24	検討ケースがないため中止			
5	6/14	6	在宅	後見	司法書士
		7	在宅	後見	社会福祉士
6	6/28	8	施設	後見	弁護士
		9	施設	後見	司法書士
		10	施設	後見	社会福祉士
7	7/12	11	病院	後見	司法書士
		12 (申立保留)	在宅	未定	社会福祉士
		13	施設	補助	司法書士
8	7/28	14	在宅	後見	社会福祉士
		15	在宅	未定	司法書士
		16	病院	保佐	弁護士
9	8/9	17	病院	後見	社会福祉士
10	8/23	18	病院	保佐	司法書士
		19	在宅	保佐	弁護士
11	9/13	20	在宅	後見	弁護士
12	9/27	21	病院	後見	社会福祉士
		22	在宅	後見	社会福祉士
13	10/11	23	在宅	保佐	司法書士
14	10/25	検討ケースがないため中止			
15	11/8	24	在宅	後見	弁護士
16	11/22	25	病院	後見	社会福祉士
		26	病院	後見	弁護士
		27	施設	後見	司法書士



17	12/13	28	施設	未定	社会福祉士
		29	施設	後見	弁護士
		30	病院	後見	司法書士
18	12/26	31	在宅	保佐	弁護士
		32	在宅	保佐	社会福祉士
		33	病院	後見	社会福祉士
19	1/12	34	在宅	後見	司法書士
20	1/24	35	在宅	補助	司法書士
21	2/7	36	病院	後見	弁護士
		37	病院	後見	社会福祉士
		38	病院	後見	弁護士
		39	在宅	後見	弁護士
		40	在宅	後見	弁護士
22	2/21	41	在宅	未定	司法書士
		42	病院	未定	司法書士
		43	病院	後見	弁護士
		44	施設	後見	社会福祉士
		45	在宅	保佐	社会福祉士
23	3/14	46	施設	後見	弁護士
		47	在宅	後見	司法書士
24	3/28	48	病院	後見	社会福祉士
		49	在宅	後見	社会福祉士
		50	施設	補助	弁護士

(イ) 権利擁護困難ケース専門相談

	開催日	専門職	相談者	内容
第1回	4/11	司法書士	高齢者あんしんセンター職員	軽度認知症の方の遺言、相続について
第2回	4/22	弁護士	高齢者あんしんセンター職員、北区社会福祉協議会職員	高齢の親と精神疾患が疑われる子の世帯支援について
		社会福祉士		
第3回	4/25	弁護士	高齢者あんしんセンター職員、区職員	高齢夫婦の支援と親族からの虐待について
第4回	6/14	社会福祉士	高齢者あんしんセンター職員	疾患が疑われるが医療や福祉につながっていない高齢者
第5回	11/16	弁護士	高齢者あんしんセンター職員、福祉事業所等	過去の虐待対応について、権利擁護の観点から意見交換
		社会福祉士		
第6回	12/27	弁護士	高齢者あんしんセンター職員、区職員	親族からのネグレクトがある高齢者への支援方針
		社会福祉士		
第7回	3/1	弁護士	高齢者あんしんセンター職員	度々詐欺の被害に遭う方の支援
		社会福祉士		
第8回	3/24	弁護士	就労支援センター職員	精神疾患のある方の就労支援と親族との関わり
		社会福祉士		

(ウ) 定期モニタリング会議の実施

日程	開催日	後見人等	専門職	内容
第1回	11/28	弁護士	司法書士・ 社会福祉士	精神障がい、万引き歴がある。 後見人は本人の生活費を週1回ごとに手渡ししているが本人の金銭費消ペースが収入を上回っている。 服薬管理が難しい、現金が足りないといったことから万引きの懸念があり、施設の方向も検討中。 後見人と福祉関係者との連携強化(チーム作り)にむけて中核機関が関わることに。
第2回	12/23	社会福祉士	弁護士・司法書士・ 社会福祉士	病院の紹介した保証会社と契約し収入を超過した有料老人ホームに入居していた。保佐人が関わり、保証会社は解約、収入で収まる北区内特別養護老人ホームに転居。引き続き親族とも連絡を取りながら保佐人が支援していく。
第3回	1/13	社会福祉士	弁護士・司法書士・ 社会福祉士	半年以上入院中。病状が安定しないため、退院時期の見通しが立たない。 精神障がいのほかに、知的な面での遅れもみられ、生活の基本的なことに関して自発的に取り組む意欲がみられない。 本人の成長及び心身の状況を確認しながら、退院に向けて支援する。また、退院後も社会に適応した生活がおくれるよう、サポートチームメンバーとともに支援する。
第4回	3/14	親族	弁護士・司法書士・ 社会福祉士・	本人の長男が介護者兼親族後見人。 年々介護の負担は重くなっている。 長男は本人が穏やかに最期まで在宅生活が送れるよう、面倒を見ることを希望。 長男自身身体の衰えや、反面孤独を感じている。 一人で考え込まないよう、関係機関などと適宜やりとりを心掛けている。

## 8. 視覚障がい者ガイドヘルパー派遣事業

(事務事業費1,038千円 人件費9,918千円)

### 視覚障がい者ガイドヘルパー派遣事業 (10,956千円)

#### 【事業内容】

北区から居宅介護サービス支給量の決定を受けた視覚障がい者に対し、通院と同行援護の外出支援を実施する。

#### 【実績】

#### ① ガイドヘルパー登録状況 (人)

区分	30代	40代	50代	60代	70代	合計	令和3年度
男性	0	1	0	0	0	1	1
女性	0	0	5	17	9	31	37
合計	0	1	5	17	9	32	38

#### ② 利用者登録状況 (人)

区分	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	合計	令和3年度
男性	0	0	3	6	3	3	0	15	15
女性	0	0	5	2	5	8	0	20	23
合計	0	0	8	8	8	11	0	35	38

#### ③ 実施状況

月	利用者数	ヘルパ-実績	総活動時間	介護給付費収入額	利用者負担額		合計収入額
	(人)	(人)	(時間)	(円)	(件)	(円)	(円)
4月	32	27	463	933,783	11	40,463	974,246
5月	30	26	488	936,942	8	32,931	969,873
6月	30	28	487	951,945	9	32,976	984,921
7月	30	26	498	852,397	9	35,215	887,612
8月	29	24	433	773,591	8	18,176	791,767
9月	29	29	381	820,015	8	37,228	857,243
10月	32	27	535	1,010,540	10	36,772	1,047,312
11月	31	26	505	1,086,842	10	38,185	1,125,027
12月	32	25	440	864,727	10	32,045	896,772
1月	31	26	445	877,431	9	24,587	902,018
2月	33	25	414	807,642	9	25,485	833,127
3月	31	25	413	810,244	8	21,649	831,893
合計	370	314	5,502	10,726,099	109	375,712	11,101,811
月平均	31	26	459	893,842	9	31,309	925,151
3年度	385	347	5,946	11,411,180	109	426,320	11,837,500

#### ④ 登録ガイドヘルパー研修会

	研修名	内容	開催日	参加人数(人)
第1回	ガイドヘルパー・友愛ホーム サービス合同研修	食をテーマにした講演会 楽しく 食べて健康に！ キューピー	9/27	20
第2回	ガイドヘルパー・友愛ホーム サービス合同研修	ミニ 老い支度講座 ～エンディングノートの書き方～	12/12	3

#### ⑤ 関係団体への説明会等

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年度は実施せず。

## 9. 生活困窮者自立支援事業サービス区分関連事業

(事務事業費 4,388 千円、人件費 33,237 千円)

### (1) 生活困窮者自立支援センター事業（北区から受託）（37,625 千円）

#### ① 事業内容

「北区くらしとしごと相談センター」の運営（平成 27 年 3 月～）

さまざまな理由により、現に生活に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方、将来的に生活困窮になるおそれがある方（以下、「生活困窮者」という）に対し、それぞれが抱える課題を整理し、一人ひとりの状況に合わせた支援を、本人とともに考え、支援プランを作成し、寄り添いながら支援を行うことで、それぞれの状況に合わせた自立をめざし、生活の立て直しを図る。

また、生活困窮者の社会的孤立を防ぐため、地域の社会資源を開発するとともに地域住民への理解を広げる。

#### ア. 自立相談支援事業

- ・就労その他の自立に関する相談支援、事業利用のためのプラン作成
- ・訪問支援も含め生活保護にいたる前の段階から早期に支援
- ・地域ネットワークの強化など「地域づくり」も担う

#### イ. 住居確保給付金

- ・離職により住居を失った、またはその恐れが強い生活困窮者であって、所得が一定水準以下の方に対し、家賃相当の「住居確保給付金」（有期）を支給。

支給は原則 3 か月間とし、世帯の収入が回復しない場合、2 回の延長、最長 9 か月までの支給が認められている。

なお、支給は 1 回、最長 9 か月までとされており、原則として再支給は認められない。

#### ウ. 家計相談支援事業

- ・家計収支等に関する課題の評価、分析と相談者の状況に応じた支援計画作成
- ・生活困窮者の家計の再建に向けたきめの細かい相談支援
- ・法テラス等関係機関へのつなぎや、必要に応じて貸付の斡旋

※「北区くらしとしごと相談センター」では、上記のア～ウのほか、就労支援及び就労準備支援事業を、株式会社パソナが北区から受託して行っており、同社と連携しながらセンター運営にあたっている。

#### エ. 新型コロナウイルス感染症の影響による住居確保給付金の対象拡大及び再支給

新型コロナウイルス感染症の影響により、従来、離職から 2 年以内の離職者を対象としていた住居確保給付金について、令和 2 年 4 月 20 日（月）より失業、廃業と同等程度の減収状況にある方まで対象を拡大した。

また、令和 3 年 2 月より特例措置として開始した住居確保給付金の再支給は、数度の申請期間延長を経て、令和 5 年 3 月 31 日まで申請受付を延長することとなった。

## ② 相談・支援の実績

### ア. 相談受付・申込・支援継続中の件数 (件)

No.	項目	令和4年度	令和3年度	備考
1	相談受付件数 (件)	1,200	723	
2	プラン策定件数 (件)	280	739	再プランを含む
3	プラン策定割合 (%)	23.3	102.2	プラン策定件数/相談受付件数

### イ. 相談延べ件数 (件)

No.	年度		
	項目	令和4年度	令和3年度
1	電話相談・連絡	5,212	9,439
2	来所面談	2,846	7,515
3	訪問	67	36
4	同行	67	47
合計		8,192	17,037

### ウ. 相談内容内訳 (重複あり) (件)

No.	項目	令和4年度	令和3年度
1	病気、健康、障がい	1,355	1,034
2	住まい	2,325	6,154
3	収入・生活費	3,550	7,377
4	家賃・ローン支払	2,552	6,474
5	税金、公共料金支払	380	280
6	債務	590	410
7	仕事探し、就職	1,316	1,491
8	仕事上の不安、トラブル	629	596
9	地域との関係	38	51
10	家族との関係	436	331
11	子育て	101	42
12	介護	84	117
13	ひきこもり・不登校	140	65
14	DV・虐待	108	53
15	食べるものがない	246	325
16	その他	704	1,006
合計		14,482	25,806

エ. 新型コロナウイルス感染症の影響による住居確保給付金の相談・申請件数

(件)

		令和4年度	令和3年度	備考
1	相談・問い合わせ	1,356	5,025	
2	初回申請	57	165	
3	延長申請	46	264	延長、再延長、再々延長を含む
4	再支給	22	168	

③ 支援調整会議

北区くらしとしごと相談センターの相談支援の利用を申し込んだ相談者へのアセスメントの結果、相談支援員は、それぞれの相談者個別のプランを作成する。支援調整会議は、作成された支援プランについて検討のうえ決定する場である。

従来は、月1回対面にて会議を開催していたが、令和3年度に続き令和4年8月までは書面での開催とし、主に住居確保給付金の支援を決定した。令和4年9月以降は新型コロナウイルスの影響により、対面にて令和4年9月、11月、令和5年1月、3月に支援調整会議を行い決定した。

(件)

	日 時	新規支援	再プラン	支援終結	支援中断	備 考
1	9/14	13	3	1	0	8/18～9/13 までにプラン作成・終結のケース
2	11/15	14	18	12	2	9/15～11/14 までにプラン作成・終結のケース
3	1/18	14	14	8	0	11/15～1/14 までにプラン作成・終結のケース
4	3/ 1	15	7	11	0	1/15～2/28 までにプラン作成・終結のケース

※件数は住居確保給付金のみでプラン作成をしたケースを除く件数。

④公開講座

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度より開催を見合わせていたが、令和4年度は講師をお招きし2回開催することができた。10月に開催した1回目は感染症対策のため人数制限を設け集合形式で実施、2回目は2月にオンライン（ZOOM）にて実施した。

	講座名	内容	講師	日時	参加人数(人)
1	一度は聞いておきたい借入の話～返済で困らないための借入知識と借入後や返済中にすべきこと～	理想の家計バランス、ライフイベントにかかる費用の目安、ローンとクレジット、信用情報、多様化する決済手段、多重債務、相談窓口の紹介	日本貸金協会 教育研修部消費者啓発課 千葉 園子氏	10/15 10時～正午	9

2	これから働くあなたに！知っておきたい！雇用のアレコレ	雇用と請負・業務委託の違い、働くにまつわる労働法の基本、社会保険、給与明細の確認の仕方等	THE STAR 社労士法人 古見 明子氏	2/3 18時～20時	11
---	----------------------------	--	-----------------------------	----------------	----

#### ⑤会議・見学等

生活困窮者自立支援を行うにあたり、関連団体、機関等との連携はきわめて重要である。さまざまな団体、機関との情報交換や連携を図るための会議出席、事業周知による連携機関、団体の開発、公民さまざまな機関、団体について情報を得ることにより充実した支援を行えるように努めてきた。

#### ア. 外部会議への参加

No	会議名	開催日	内容
1	生活保護受給者等就労支援協議会	7/5	生活保護受給者、生活困窮者、ひとり親などの就労支援についての実績報告
2	ひきこもり関係課連絡会	5/25	ひきこもり、8050問題等の課題に対応する関係課による連絡会
3	ひきこもり合同相談会	8/1、1/27	ひきこもり関係課による合同の相談会。8月は5ケース、1月は4ケースの相談を受ける。
4	ひきこもり支援プラットフォーム会議	8/26、2/13	北区が設置する、ひきこもりの方々の支援の在り方と実施について、北区のひきこもり支援関係各課と北区内の家族会などの当事者・支援団体がともに検討する会議
5	北区居住支援協議会	3/28	住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への円滑な入居の促進に関し必要な支援について協議する会議
6	生活困窮者自立支援制度におけるブロック別研修（関東・甲信越ブロック研修）	12/16 打合せ：10/21	関東・甲信越ブロック研修「障がい疑われる方などの自己決定支援を考える」シンポジスト
7	不登校・ひきこもりの自主家族懇談会「赤羽会」	4/2	北区くらしとしごと相談センターの紹介
8	NPO 法人楽の会リーラ 電話相談員養成講座	9/17	「支援機関との連携」についての単位を担当

#### イ. カンファレンスなど

相談者の抱えている課題は多方面であり複雑化していることから、区役所関連部署をはじめ、弁護士等の専門職との情報共有、連携が不可欠である。支援の方向性を検討するためカンファレンス等に参加・対応した。

⑥北区くらしとしごと相談センター事業に付随する取り組み

ア. 食料支援

北区くらしとしごと相談センターに来所された相談者で、食料を必要としている方に、地域住民や企業等からいただいた食料を配分している。食料の支援は、すぐに食べ物を必要とする相談者はもちろん、家計を立て直すために活用することもある。

通常は相談を受けたうえで食料支援を行うが、令和2年度より新型コロナウイルス感染症の影響により困窮状態に陥る方が増えていることを受け、自由に持ち帰ることができるように、窓口に配置する食料を増やした。

食料は、フードドライブの実施、各家庭や企業等からの直接のご寄付によって確保することができる。

令和3年度に続き令和4年度も、感染予防の観点から、北区社会福祉協議会としてフードドライブは実施しなかったが、独自にフードドライブを実施した4団体・企業から17件の寄付を受けた。

A. 食品寄付受付件数

(件)

寄付者	令和4年度	令和3年度
個人からの寄付	148	80
企業・団体からの寄付	48	44
フードドライブ	4	0

B. 食料支援件数

(件)

食料支援件数	件数
社協備蓄の食料	251
フードバンク（セカンドハーベストジャパン）紹介状発行	9
年末食料配布（令和4年度は寄付食料がないため実施なし）	0

※窓口配置の食料を持ち帰ったケースを除く、相談援助のうえでの食料支援件数。

イ. 日用品支援

生理用品や箱ティッシュ、石鹸、化粧水などの日用品についても寄付を受け付け分配した。



## 10. 生活福祉資金貸付事務受託事業サービス区分関連事業

(事務事業費 3,433 千円、人件費 24,216 千円)

### (1) 生活福祉資金貸付事務受託事業（東京都社会福祉協議会から受託）（27,649 千円）

#### ①生活福祉資金貸付事務受託事業

##### ア. 事業内容

低所得世帯、高齢者世帯、障がい者世帯を対象に、無利子もしくは低利子での資金の貸付と、必要な相談援助を行うことで、世帯の経済的自立等を図ることにより安定した生活を送ることができるようにする。

##### イ. 実績

##### A. 年間貸付決定・相談件数

貸付資金区分	件数・年度		決定件数 (件)		相談件数 (件)	
	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
福祉資金(緊急小口資金を含む)	0	0	0	0	1,181	424 (※)
教育支援資金	2	4				
総合支援資金	0	0	0	0	93	10
不動産担保型生活支援資金	0	0	0	0	64	6
ひとり親家庭高等職業訓練促進資金	0	0	0	0	8	1
その他	0	0	0	0	335	0
合計	2	4	2	4	1,681	441

(※)新型コロナウイルスの感染症の影響による特例貸付については 10. ②緊急小口資金及び総合支援資金特例貸付（東京都社会福祉協議会から受託）(p. 70)のページを参照。

##### B. 貸付資金種別内訳及び貸付決定金額

貸付資金区分	資金種別	令和4年度		令和3年度	
		件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)
福祉資金		0	0	0	0
教育支援資金	教育支援費のみ	0	0	1	387,000
	就学支度費のみ	1	288,000	0	0
	教育支援費+就学支度費 (うち就学支度費金額)	1	1,370,000 (200,000)	3	4,283,000 (863,000)
	小計	2	1,658,000	4	4,670,000
総合支援資金		0	0	0	0
不動産担保型生活支援資金		0	0	0	0
ひとり親家庭高等職業訓練促進資金		0	0	0	0
合計		2	1,658,000	4	4,670,000

※上記は貸付が決定した金額。教育支援資金（就学支度費含む）は、分割での交付のため本人への交付金額とは異なる。

② 緊急小口資金及び総合支援資金特例貸付（東京都社会福祉協議会から受託）

ア. 事業内容

生活福祉資金貸付事業の一環で、新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付の相談、受付業務を令和2年3月25日より開始。当初、申請期間を令和2年7月末までとしていたが、数回の延長を経て令和4年9月末まで受付を行った。

緊急小口資金と総合支援資金初回貸付については、令和4年2月から非課税世帯（借受人及び世帯主の住民税が非課税である世帯）を対象とした償還免除（判定免除）の申請受付が開始され、同年10月からは生活保護世帯や借受人が重度障害等で償還困難な世帯を対象とした償還免除（任意免除）の申請受付も開始された。

償還免除の判定にて、償還免除とならなかった借入世帯については、令和5年1月以降、順次償還開始となっている。ただし、令和4年12月から借受人が失業中である、被災した、病気療養中等で償還困難な状況である場合は、償還猶予や少額返済の申請受付も開始されている。

原則として、特例貸付に係る償還業務は、東京都社会福祉協議会が電話相談により対応しているが、同所での対応が困難なケース（外国籍の方や障がい等をお持ちで、猶予申請に対面による支援が必要なケース）については、当会でも適宜対応する。

なお、令和2年7月より開始された総合支援資金延長貸付は令和3年6月末日で受付を終了し、償還免除の判定が令和5年度に行われる。令和3年3月から開始された総合支援資金再貸付は令和3年12月末日で終了し、償還免除の判定が令和6年度に行われる。

イ. 貸付制度の概要

A. 緊急小口資金（特例貸付）

貸付金額 20万円  
 据置期間 1年以内  
 返済期間 2年以内（24回以内）  
 連帯保証人 不要 利子 無利子（延滞利子年3.0%）

B. 総合支援資金（特例貸付）

貸付金額 二人以上世帯：月額20万円以内 単身世帯：月額15万円以内  
 貸付期間 原則3か月以内  
 据置期間 1年以内 返済期間 10年以内（120回以内）  
 連帯保証人 不要 利子 無利子（延滞利子年3.0%）

\*総合支援資金延長貸付及び再貸付も同じ内容である。

ウ. 実績

A. 相談・申請件数

	令和4年度		制度開始からの累計	
	緊急小口資金（件）	総合支援資金（件）	緊急小口資金（件）	総合支援資金（件）
相談・問い合わせ	1,104(※)	1,091(※)	15,072(※)	23,594(※)
申請	322	230	8,364	6,209
延長申請				2,783
再貸付申請				3,667

(※) 制度終了の令和4年9月までの実績。

なお、令和4年10月～令和5年3月までの相談・問い合わせ件数は、緊急小口資金163件、総合支援資金295件となっている。

## 11. 受験生チャレンジ支援貸付事務受託事業サービス区分関連事業

(事務事業費 1,829 千円、人件費 6,641 千円)

### (1) 受験生チャレンジ支援貸付事務受託事業 (北区から受託) (8,470 千円)

#### ① 事業内容

一定所得以下の世帯の子どもの進学を支援するため、以下の内容で貸付を行う。  
進学後、一定の要件を満たすことで償還免除となる。

令和4年度より要件緩和が2点行われた。

1点目は、世帯の所得・収入基準が生活保護基準の1.1倍から1.5倍へ変更となった。

2点目は、これまで連帯保証人もしくは連帯借受人を1名設定することが必要であったが、どちらも不要となり、対象世帯が拡大された。

#### ア. 学習塾等受講料

中学3年生・高校3年生とも限度額 200,000 円

#### イ. 大学・高校受験料

高校・・・限度額 27,400 円 (計4回まで ※1校あたりの上限 23,000 円)

大学・・・限度額 80,000 円 (回数や金額の制限なし)

#### ② 実績

##### ア. 相談件数 (件)

令和4年度	令和3年度
1,413	2,329

※新規貸付相談、問い合わせ・継続相談、償還相談の総計

##### イ. 貸付件数 (件)

貸付区分・学年	件数・年度	決定件数	
		令和4年度	令和3年度
学習塾等受講料	高校受験	76	38
	大学等受験	39	29
受験料	高校受験	79	44
	大学等受験	57	43
合計		251	154

## 12. 緊急援護たすけあい資金貸付事業サービス区分関連事業

(事務事業費 38 千円)

### (1) 緊急援護たすけあい資金貸付事業 (38 千円)

#### ① 緊急援護金貸付・給付事業

##### ア. 事業内容

緊急に資金を必要とする方へ、次の援護金等を貸付及び給付する。(北区に委託)

- ・ 北区在住の生活困窮者への緊急生活費貸付
- ・ 住所不定者への交通旅券支給

##### イ. 実績

区分	令和 4 年度		令和 3 年度	
	件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)
緊急生活費貸付	207	1,376,390	205	1,188,400
交通旅券支給	0	0	32	22,780
合計	207	1,376,390	237	1,211,180

#### ② たすけあい資金貸付事業

##### ア. 事業内容

緊急で一時的な出費によって、日常生活を脅かされるおそれがあり、他から資金を借り受けることが困難な世帯に対し、3万円を限度額として緊急生活資金等を貸し付ける。

##### イ. 実績

区分	令和 4 年度		令和 3 年度	
	件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)
生活保護受給世帯	1	30,000	0	0
一般世帯	0	0	0	0

### 13. 子ども支援事業 (事務事業費 3,215 千円、人件費 13,611 千円)

#### (1) 学習支援事業 (北区から受託) (10,784 千円)

##### ① 小学生対象学習支援教室

北区からの受託事業として、生活困窮者自立支援事業の任意事業である「子どもの学習支援教室」の立ち上げ・運営支援に取り組んでいる。

令和4年度は新たに田端教室、浮間教室の立ち上げを行い、9教室となったことで、区内全域をカバーできることとなった。実施については感染症対策等、安全に配慮しながら各教室の運営を行った。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、会場である大学内への学生以外の立ち入りが禁止となっていた堀船教室については、オンライン実施としていたが、段階的に対面支援を再開した。

#### ア. 学習支援教室実施状況

教室名	開催時期・時間	延べ参加者人数 (人)	
		令和4年度	令和3年度
東十条	毎月第1、第3水曜日 17:30~19:00	120	0
滝野川	毎月第1、第3水曜日 17:00~18:30	203	185
桐ヶ丘	毎月第2、第4土曜日 14:00~16:00	161	93
堀船	毎月第2木曜日・オンライン 16:30~18:00	78	74
王子	毎週月曜・木曜 17:30~18:30	531	521
中十条・赤羽西	毎月第1、第3水曜日 16:30~18:30	150	6
豊島	毎月第1、第3水曜日 16:00~18:00	116	15
田端	毎月第1、第3水曜日 16:30~18:30	82	
浮間	毎月第2、第4火曜日 16:00~18:30	83	

#### イ. 学習支援関連支援実績

項目	令和4年度	令和3年度
	延べ件数 (件)	延べ件数 (件)
立ち上げ支援	93	6
運営支援	567	227
個別支援	117	9

会議	10	7
ボランティア調整	251	176
寄付	15	10
心理ケア	22	
利用相談	21	
その他	171	11

#### ウ. 学習支援教室運営団体への研修等

学習支援教室を運営する団体等を対象とした研修として実施した。教室に参加する子どもの中に発達面などに課題があると思われる児童がいた場合に、適切な対応をしたいという声があつた教室から挙がっていたため、それを踏まえ、令和4年度より学習以外の生活面・心理面の相談対応について運営者が適切な対応が取れるよう研修の場を設けた。

事業名	内 容	開催日	参加者数 (人)
学習支援教室運営者 合同研修 (対面・オンライン)	子どもの心のケア・発達障がい・学習障がいの基礎知識とその対応 講師：日本女子大学心理学科	12/25	21

事業名	対象教室（希望教室で実施）	開催日	参加者数(人)
学習支援教室運営者 教室訪問相談会	田端教室	12/7	8
	東十条教室	1/17	8
	桐ヶ丘教室	3/11	11

#### エ. 学習支援ボランティアの募集

学習支援教室の運営の安定、及び新たな学習支援教室立ち上げを目指し、当会広報紙「きたふくし」や関係機関等へのチラシ配布などにより学習支援ボランティアを募集した。

項目	実施内容	掲載・実施数(回)	問合せ・応募件数
募集記事掲載	きたふくしへ169号、171号への掲載	2	39

## ② キャリア学習イベント

子どもの学習・生活支援事業の一環として、広く区内の子どもたちの参加も求め、子どもたちが将来の夢を描く一助となることをめざし、キャリア学習として職業体験イベントを実施した。

なお、実施にあたっては、地域で子ども支援活動等を実施する団体や大学、企業等と連携、協働し、「知る喜び」、「学ぶ楽しさ」を育み、「どのような仕事につきたいか」「夢をかなえるためにはどのようなことをするべきか」を考えるきっかけとなるように工夫し企画した。プログラムについては左官職人、製麺業、プラスチック製造業、伝統工芸、法律家、医療従事者の6つを用意した。

(共催団体)

一般社団法人 SHOIN

(協力)

慶應義塾大学医学部の学生(講師)、順天中学校・高等学校協力(会場借用、運営)、

東京青年会議所北区委員会(講師、運営)、東京家政大学ボラガール(運営)、東洋大学(運営)

### ア. キャリア学習イベント参加状況

イベント名	参加者数 (人)		
	内訳	令和4年度	令和3年度
「小学生のキャリア学習プログラム北区で職業体験」	小学生	54	47
	講師	13	20
	ボランティア	38	15

## (2) ネットワーク支援事業 (5,955千円)

北区からの受託事業として子ども食堂ネットワーク構築支援を行ったほか、フードパントリーネットワークの事務局として会議を開催した。そのほか、子ども支援活動の運営・立ち上げに関する相談及び支援、社会資源の調査についても取り組んでいる。

### ① 子ども・若者応援ネットワーク

「子どもたち、若者たちの育ちを応援する北区」を目指すネットワークとして設立されたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、研修、啓発活動等が困難になった事により、活動の見直しについて検討した。令和4年度についてはネットワーク参加団体と大学連携について進め、大学とネットワーク団体が学生の受け入れに関する打合せを行った。

### ② 子ども食堂等ネットワークによる子どもの見守り体制強化事業(北区から受託)

#### ア. ネットワーク会議及び研修

平成30年6月に発足した「北区子ども食堂ネットワーク」の事務局として、情報提供・情報交換、研修、寄付品の調整などを行うことで、子ども食堂活動の支援と連携強化を行っている。

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響により連携が希薄になりがちなネットワークの連携強化を図るため、対面及びオンラインを活用し、ネットワーク会議を実施した。

また、令和3年度より北区役所からの子ども食堂助成を受ける団体は、虐待防止に関する研修

を受講することとなり、子ども食堂ネットワーク会議後に子ども家庭支援センターと北区子ども未来課による虐待防止研修の実施について支援調整を行った。

No.	項目	内容	開催日	参加数(団体)
1	第1回ネットワーク会議(対面、オンライン)	・新規団体紹介 ・各子ども食堂の現況 ・困っていること、共有したいこと ・その他	8/2	10
2	第2回ネットワーク会議(対面・オンライン)※虐待防止研修同時開催	児童虐待防止と子ども食堂による見守り強化について 講師:北区子ども家庭支援センター職員	9/30	18

#### イ. 子ども食堂に係る団体活動支援

令和3年度に引き続き、区内の企業、団体、個人から子ども食堂で使ってほしいと食品の寄付があり、子ども食堂ネットワークのメーリングリストを使って、食品の配分を実施した。そのほかにも全国子ども食堂ネットワークからの研修、助成金、活動に役立つ情報等について事務局として発信を行った。

#### ウ. 北区フードパントリーネットワーク支援

令和3年度については、新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少し、食品の購入が困難になった世帯等へ食品を渡す「フードパントリー」活動を行う区内の支援団体が4団体となった。令和4年度は東京都や北区の助成制度も整ってきたことに伴い、新たにパントリー活動を始めたと思う団体が出てきたことにより、フードパントリーネットワーク加盟の条件整理を行った。

項目	令和4年度	令和3年度
	延べ件数(件)	延べ件数(件)
立ち上げ支援	22	10
運営支援	550	230
個別支援	1	2
会議	12	6
ボランティア調整	1	9
物品寄付	195	343
資金寄付調整	7	6
利用相談	10	3
ネットワーク支援	89	33



### ③ 子ども支援活動団体の立ち上げ・運営支援

子ども支援団体の設立、運営に関する相談・支援を実施した。

利用できる助成金等の制度紹介の他、先進事例への見学同行、調整、個々の団体では難しい研修等を社協が開催することで、各団体における子ども支援強化について実施した。

子ども食堂の運営支援の一環として、全国子ども食堂ネットワーク交流会へ当会職員が参加し、そこで得た情報を北区の子ども食堂ネットワークで共有するなどを行った。

講演・研修・イベント名	内 容	開催日	参加者数 (人)
全国子ども食堂ネットワーク交流会	全国子ども食堂ネットワークによる意見交換・情報交換会	2/4	128
学習支援教室運営者合同研修（再掲）	子どもの心のケア・発達障がい・学習障がいの基礎知識とその対応	12/25	21

### ④ 他機関との連携

2カ月に1回「北区子ども家庭支援センター」「北区子ども未来課」「北区社会福祉協議会」の3者による定例会議を行い、事業予定、課題等の共有のほか、必要があれば個別のケース等が抱える問題解決に向けた話し合いを行った。定例会議を実施することにより、担当者間の顔の見える関係づくりにもつながり、各事業を実施する上でも相談、同行等の連携につながった。

新型コロナウイルス感染症の影響により、生活困窮に陥った家庭からの子ども支援に関する相談にも対応し、必要に応じて専門機関につないだ。

講演・研修・イベント名	内 容	開催日	参加者数 (人)
全国子ども食堂ネットワーク交流会（再掲）	全国子ども食堂ネットワークによる意見交換・情報交換会	2/4	128
北区子ども家庭支援センター、北区子ども未来課との定例会議	日頃から相談しやすい体制づくりの一環として、定例会議を実施	各月	5~7

## (3) その他の子ども支援事業（87千円）

### ① 調査・広報啓発

子ども支援活動に取り組む団体が利用できる社会資源の調査、連携の可能性のある団体、個人へのヒアリング等については、新型コロナウイルス感染症の影響により、リモートにて行うなど工夫した。

前年度同様、寄付（資金、物資など）の問い合わせに対しては、子ども支援事業に対する指定寄付として受付を行った際は、どのような活用をしたかフィードバックを寄付者に対して行い、承諾があればフェイスブック等で区内外に発信した。

子ども・若者応援基金の設立に伴い、区内の企業、法人、慈善団体へ基金概要の説明と協力の依頼を行うとともに、きたふくし等を活用して、区内全域に基金の周知を図った。その際は基金

の内容のみならず、地域の子ども支援の現況などもお伝えすることで、子ども支援活動全体の啓発を行った。

② ひとり親世帯応援事業

ひとり親家庭の孤立防止を目的とした当事者同士の交流、仲間づくり、親と子のコミュニケーション、情報提供の場にもつながる「親子バスハイク」について、新型コロナウイルス感染症の影響で3年間実施できなかったが、感染者数の減少により実施の方向で検討をした。結果として密室となるバスは使用せずに、荒川遊園に現地集合、現地解散として実施した。

③ オレンジリボンキャンペーンへの協力

北児童相談所と北区子ども家庭支援センターが主催する、児童虐待防止の啓発活動「オレンジリボンキャンペーン」に協力し、商店街での啓発事業に参加した。

実施場所	実施日	内 容
十条銀座商店街	11/14	児童虐待防止推進月間の啓発グッズの配布。民生委員・児童委員、東京成徳大学学生、東洋大学学生が参加。
赤羽 LaLa ガーデン	11/16	

## Ⅱ. 社会福祉事業区分 歳末たすけあい運動事業拠点区分

### 1. 歳末たすけあい運動事業 (事務事業費2,221千円)

#### (1) 歳末たすけあい運動事業 (2,221千円)

- ① 募金名称 歳末たすけあい・地域福祉募金
- ② 運動期間 令和4年12月1日～12月31日
- ③ 主唱者 東京都共同募金会／東京都社会福祉協議会
- ④ 実施団体 北区町会自治会連合会／北区赤十字奉仕団／  
北区民生委員児童委員協議会／北区社会福祉協議会
- ⑤ 協力 北区
- ⑥ 運動の成果

収入内訳		金額 (円)
ア. 募金収入		22,214,436
A.	町会・自治会連合会取扱分	21,166,394
B.	民生委員児童委員協議会取りまとめ分	40,894
C.	北区社会福祉協議会事務局取扱分	1,007,148
	王子法人会	65,000
	エコー広場館4館	52,851
	街頭募金・イベント募金	94,480
	個人・団体等募金	239,116
	窓口・職場募金	554,243
	auPAYによる募金	1,458
イ.	雑収入 (前年度繰越金および当年度利子収入)	15
ウ.	北社協負担分	0
収入合計		22,214,451

支出内訳		金額 (円)
エ. 東京都共同募金会納付金 (令和4年度地域福祉活動費に充当)		19,993,006
オ. 事務経費		2,221,445
支出合計		22,214,451

(令和5年3月3日監査実施日現在)

#### ⑦ 実施委員会

##### 令和4年度 第1回北区歳末たすけあい運動実施団体代表者協議会

開催日	出席者数(人)	付議内容
10/5	14	会計監事の選出 令和4年度北区歳末たすけあい運動の実施 令和4年度北区歳末たすけあい運動 実施・スケジュールの確認

##### 令和4年度北区歳末たすけあい運動実施団体説明会及び配分先団体による活動報告

開催日	出席者数(人)	付議内容
11/1	43	実施団体代表者紹介 令和4年度北区歳末たすけあい運動の実施 配分先団体による活動報告

##### 令和4年度 第2回北区歳末たすけあい運動実施団体代表者協議会

開催日	出席者数(人)	付議内容
3/23	11	令和4年度北区歳末たすけあい運動 監査報告 令和4年度北区歳末たすけあい運動 活動報告

※ 平成28年度に、以下を任務とする「北区歳末たすけあい運動実施団体代表者協議会」を設置。

- ア. 歳末たすけあい運動の実施内容に関する事
- イ. 会計監事の選出に関する事
- ウ. その他、北区歳末たすけあい運動の実施についての必要な事項

#### ⑧ 監査

開催日	出席者数(人)	監査内容
3/3	6	令和4年度北区歳末たすけあい運動決算監査

### Ⅲ. 公益事業区分 介護保険事業拠点区分

- 1. 桐ヶ丘介護予防拠点施設事業 (事務事業費9,388千円、人件費24,340千円)
- (1) 桐ヶ丘介護予防拠点施設事業 (33,728千円)
- 2. 滝野川東介護予防拠点施設事業 (事務事業費3,086千円、人件費23,057千円)
- (1) 滝野川東介護予防拠点施設事業 (26,143千円)

#### 【事業内容】

ぷらっとほ一む滝野川東及びぷらっとほ一む桐ヶ丘の運営

注) ぷらっとほ一む桐ヶ丘は、令和4年12月～令和5年3月まで空調工事のため施設利用ができず、各種事業を外部会場に変更したほか、会場貸しはこの期間停止した。

#### ① 介護予防の普及啓発に関する事業

ア. 介護予防教室 (ストレッチや筋トレ、専門職による講座、フラワーアレンジ等)

イ. ボランティアや地域の方々との交流

A. 交流サロン縁じょいプログラム B. ボランティア活動 C. 情報提供等

ウ. その他 A. 自主グループ支援 (会場貸し, 交流会, 出前講座, 体力測定会) B. 連携事業等

#### ② 通所により介護予防及び地域における自立支援に関するサービス提供する事業

身体の虚弱な高齢者を対象とした施設に通所して運動等のプログラムを提供するサービスを行っている。滝野川東は毎週木曜日、桐ヶ丘は毎週水曜日に実施。

ア. 通所型サービス事業

イ. 男女別登録者数

高齢者が地域ではつらつと自立生活を送るための支援プログラムを地域住民等と協働で実施している。

ウ. 来所者数・相談件数等 (延べ人数)

#### 【実績】

#### ① 介護予防の普及啓発に関する事業

ア. 両施設合計延べ参加者数および実施回数

	交流サロン 講演会等 参加者数	介護予防教室参 加者数	担い手等 人材育成事業 参加者数 ※1	会場貸し 出前他 利用者数	ボラン ティア 活動	その他 ※2
4月	149	435	0	657	120	31
5月	160	407	0	649	63	34
6月	238	471	0	772	147	255
7月	185	388	19	663	226	413
8月	242	353	27	658	33	0
9月	249	341	0	765	139	16
10月	212	342	0	933	26	16
11月	269	384	0	1,009	62	76
12月	50	430	0	408	99	0
1月	24	291	0	376	46	40
2月	38	310	12	626	31	0
3月	85	267	18	502	58	43
計	1,901	4,419	76	8,018	1,050	924

年間実施 回数	154	420	6	945	224	96
------------	-----	-----	---	-----	-----	----

広報物 配布先 合計	1,938
------------------	-------

※1 介護予防リーダーフォローアップ講座 等

※2 利用者満足度調査、自治会・町会行事協力 等

イ. ボランティアや地域の方々との交流

A. 交流サロン縁じょいプログラム

施設名	協力団体	開催回数 (回)	参加人数 (人)
滝野川東	地域高齢者/自主グループ「東クイリングの会」/順天中学・高等学校	9	125
桐ヶ丘	パステルこっとな/桐ヶ丘交流サロン/暁寿会/マイクロフレッシュクラブ他	114	1384

B. ボランティア活動

施設名	内容	参加人数 (人)
滝野川東	おうちでボランティア/プログラム講師、サポート/施設外事業でのサポート/会場設営/利用者との交流他	691
桐ヶ丘	おうちでできる！ボランティア/プログラム講師/運営サポート/ぷらっとほーむまつり他	418

C. 情報提供

介護予防の普及啓発、グループ活動で活用できる資料の提供 (回数)

施設名	SNS、Webサイトの活用	お便り送付や掲示板活用
滝野川東	33	44
桐ヶ丘	26	45

ウ. その他

A. 自主グループ等支援 (回数)

施設名	会場貸し	交流会開催	出前講座, ご近所体操教室等	体力測定会
滝野川東	436	5	113	11
桐ヶ丘	273	5	53	10

B. 連携事業

施設名	内容	件数
滝野川東	<p>【高齢者あんしんセンター】            滝野川西：閉じこもり防止、ミニ老い支度、通いの場立ち上げ            飛鳥晴山苑：通いの場立ち上げ、ミニ老い支度講座、PT派遣            新町光陽苑：管理栄養士・PT派遣、通いの場立ち上げ、居場所づくり、担い手支援            王子光照苑：PT派遣            昭和町・堀船：男性通いの場立ち上げ            【北区介護予防リーダーの会】体操レクチャー            【順天中学・高等学校】盆パラビクスレクチャー            【管理栄養士、理学療法士】栄養講座、転倒予防講座            【元気Lab】オンラインアロマ講座</p>	19
桐ヶ丘	<p>【地域連携】            ぷらっとほーむまつり、朝活、みんなの夕はん処、自治会お月見会、赤北3さん、移動販売            【高齢者あんしんセンター】            桐ヶ丘やまぶき荘：赤羽台ご近所体操教室立ち上げ、桐ヶ丘団地N2地区通いの場立ち上げ            赤羽北：赤羽北UR通いの場立ち上げ            西が丘園：家族介護者教室、ミニ老い支度            赤羽：PT派遣            みずべの苑：志茂5町会合同イベント、歯科衛生士派遣            浮間：口腔講座            【自治会等の活動サポート】            桐北自治会ラジオ体操、赤羽台団地老人部ラジオ体操、桐ヶ丘団地N2地区餅つき、桐ヶ丘114自治会健康まつり            【近隣施設等】            大橋病院：健康サポート講座            つばさ工房：ジャム食材提供(だいたい)</p>	30

② 通所により介護予防及び地域における自立支援に関するサービスを提供する事業  
ア. 通所型サービス事業

施設名	施設定員	年間登録者	年間利用延数	施設別年間通所事業日数		定員に対する利用率(%)
				木曜日	水曜日	
滝野川東	20	18	227	49		23.2
桐ヶ丘	30	25	704	50		46.9
合計	50	43	931			

イ. 年間登録者男女別内訳

施設	男性(人)	女性(人)	合計
滝野川東	6	12	18
桐ヶ丘	5	20	25
合計	11	32	43

ウ. 来所者数・相談件数等(延べ人数 ※2施設合計)

(人)

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護予防事業関連	見学	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	会場貸出し	430	386	453	386	401	466	501	497	228	216	226	253	4,443
	来所による問合せ・相談	149	142	150	159	205	171	185	182	165	161	114	148	1,931
	その他問合せ相談	564	291	608	599	680	684	672	498	387	396	341	394	6,114
	合計	1,143	819	1,214	1,144	1,286	1,321	1,358	1,177	780	773	681	795	12,491
通所事業関連	利用に向けた見学	0	4	3	0	0	0	1	2	3	0	2	1	16
	事業協力者	4	9	30	16	19	18	9	11	1	2	3	3	125
	来所による問合せ・相談	8	7	14	6	6	4	10	8	5	6	5	12	91
	その他問合せ相談	36	32	50	45	48	35	38	31	41	33	27	49	465
	合計	48	52	97	67	73	57	58	52	50	41	37	65	697
上記以外	来所による問合せ・相談	192	238	216	602	253	232	240	290	240	274	281	325	3,383
	その他問合せ相談	142	63	76	142	99	97	107	88	88	73	68	69	1,112
	合計	334	301	292	744	352	329	347	378	328	347	349	394	4,495
視察研修実習		15	4	36	16	42	2	15	9	5	3	2	2	151

### 3. 要介護認定調査事業（北区から受託）

（事務事業費10,889千円、人件費73,109千円）

#### (1) 要介護認定調査事業（83,998千円）

##### 【事業内容】

北区より委託を受け、指定市町村事務受託法人として、介護保険の要介護認定調査を行う。

##### 【実績】

（件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
調査件数	675	636	682	615	698	742	714	701	616	654	750	795	8,278
前年度実績	642	582	625	590	604	601	619	651	602	651	676	698	7,541



#### IV. 収益事業区分 自動販売機設置事業拠点区分

##### 1. 自動販売機設置拠点事業

##### (1) 自動販売機設置拠点事業

平成21年度より設置・管理を実施

【販売手数料収入合計】 438,784 円 (前年度：424,240円)

No.	設置場所	所在地	設置業者	台数 (台)
1	東京都北区役所第二庁舎 (自動写真機)	北区王子本町一丁目2番1号	ワールド・アメニティ	1
2	荒川治水資料館	北区志茂五丁目41番1号	コカ・コーラ	1
合 計				2

## V. その他

### 1. 地区担当

地域の福祉課題把握のために、職員を王子・赤羽・滝野川の3地区に分け、部署や職層を超えて地域との「顔の見える」関係づくりを進めている。前年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により全く活動ができなかった。今年度も引き続き活動の制限がかかったが、3地区で開催された「おちゃのこ祭祭」や、「歳末たすけあい運動」の街頭募金活動に参加をした。今後は感染状況を見据えつつできることを模索していく。

#### ①各地区における活動状況

(件)

No.	項目	王子		赤羽		滝野川		合計	
		令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
1	行事、会合参加・見学等	2	0	2	0	2	0	6	0
2	出前講座	0	0	0	0	0	0	0	0
3	相談援助	0	0	0	0	0	0	0	0
4	広報協力店への訪問	0	0	0	0	0	0	0	0

## 2. 東京都共同募金会北地区協力会・配分推せん委員会事務局の業務

平成25年度より、東京都共同募金会北地区協力会の事務局を担い、北地区協力会及び北地区配分推せん委員会の運営に携わっている。

### (1) 東京都共同募金会北地区協力会

- ① 活動内容 赤い羽根共同募金
- ② 運動期間 令和4年10月1日～10月31日
- ③ 主唱者 東京都共同募金会
- ④ 実施団体 北地区協力会

#### ⑤ 理事会

開催日	出席者数 (人)	内容
4/28	23	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和3年度東京都共同募金会北地区協力会 決算報告・監査報告</li> <li>・ 令和4年度東京都共同募金会北地区協力会 予算案、事業計画案</li> <li>・ 令和4年度東京都共同募金会北地区協力会 総会について</li> </ul>
9/26	22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和4年度の赤い羽根共同募金の進め方</li> <li>・ 受配団体による報告「特定非営利活動法人わくわくかん」</li> </ul>

#### ⑥ 総会

開催日	出席者数 (人)	内容
4/28	63	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和3年度東京都共同募金会北地区協力会 活動報告、決算報告</li> <li>・ 令和4年度東京都共同募金会北地区協力会 事業計画、予算案</li> </ul>

#### ⑦ 事務打ち合わせ会

新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止

#### ⑧ 監査

開催日	出席者数 (人)	内容
4/15	8	令和3年度赤い羽根共同募金決算監査

#### ⑨ 募金実績 (円)

戸別募金	19,875,274
事務局預かり	125,971
auPAYによる募金	128
令和4年度合計	20,001,373
(参考) 令和3年度合計	20,090,351

## (2) 配分推せん委員会

- ① 活動内容 赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい募金運動の審査及び東京都共同募金会への配分の推せんを行う。
- ② 委員の構成 北区町会自治会連合会/北区赤十字奉仕団  
東京都共同募金会北地区協力会/北区民生委員児童委員協議会  
北区社会福祉協議会

### ③ 委員会

開催日	出席者数 (人)	内容
6/17	22	・正副委員長の互選 ・令和3年度 歳末たすけあい募金 助成事業実績報告 ・令和4年度 歳末たすけあい募金 前期助成金申請内容の審査
10/18	19	・令和4年度 歳末たすけあい募金 後期助成金申請内容の審査
1/26	16	・令和4年度赤い羽根共同募金 集計結果報告 ・赤い羽根共同募金 令和4年度申請 地域配分（B配分）の審査 ・令和4年度歳末たすけあい運動募金 集計結果報告 ・令和5年度地域福祉活動費配分事業計画（案）について

### ④ 地域配分・地域福祉活動事業配分（B配分）実績（地域で集めた募金を地域で活用できる配分）

	法人・団体数	配分申請額（円）	配分決定額（円）
令和4年度申請・令和5年度使用 地域配分	25法人・団体 53施設	10,110,000	10,110,000
令和4年度申請・令和5年度使用 地域福祉活動事業配分	2事業	2,940,000	2,940,000
合計		13,050,000	13,050,000

地域配分：施設の利用者が使用する備品や、小破修理、研修などの事業のために助成される配分金（上限：30万円）

地域福祉活動事業配分：区市町村社会福祉協議会が実施する地域福祉事業へのB配分の申請。

（当該地区の社会福祉施設等からの配分申請額の合計がB配分総金額の上限に満たない場合、地区募金の一定額を地域の福祉活動に活用する目的から、前年度の募金実績の25%を超えない範囲で配分対象とできる。）

〈参考〉

令和3年度申請・令和4年度使用B配分実績 19法人・団体 43施設 12,710,000円

